

第72回 日本学校農業クラブ

東北連盟大会

『未来につなげ 農クの絆
宮城で咲かせる 六魂の花』

スローガン

スローガン

『自然を感じる農業の地に
繋げよう農クの絆 咲かせよう六魂の花』



令和3年
8月26日 木
▶ 27日 金

プロジェクト発表会

クラブ活動紹介発表会 名取市文化会館

意見発表会

東北連盟代議員会	宮城県農業高等学校
平板測量競技会	宮城県加美農業高等学校
農業情報処理競技会	宮城県亙理高等学校

- 主催 全国農業高等学校長協会東北支部・日本学校農業クラブ東北連盟・宮城県学校農業クラブ連盟
- 共催 名取市教育委員会
- 後援 宮城県教育委員会・宮城県産業教育振興協会・公益社団法人みやぎ農業振興公社・JAみやぎ中央会
- 大会運営校 宮城県伊具高等学校・宮城県亙理高等学校・宮城県柴田農林高等学校・宮城県加美農業高等学校
宮城県小牛田農林高等学校・宮城県本吉響高等学校・宮城県迫桜高等学校・宮城県石巻北高等学校
宮城県登米総合産業高等学校・宮城県南郷高等学校
- 大会事務局 宮城県農業高等学校

FFJの歌

(日本学校農業クラブ選定)

作詞 吉沢義之

作曲 堀内敬三

一. みのる稲穂に富士と鳩

愛と平和を表した

旗はみどりの風に鳴る

土に取りくむ若人の

意気と熱とがもり上げた

FFJ FFJ われらの誇り

二. 北に南にわきあがる

自主と自由の情熱が

むすび花さくクラブこそ

学徒われらの行く道を

照らす光だよろこびだ

FFJ FFJ われらの理想

三. 香る大地にがちりと

学と行とを両の手に

伸びる生命の逞しさ

明日の日本の農業に

若い息吹を吹き入れる

FFJ FFJ われらの希望



FFJマーク

FFJマークは、日本学校農業クラブ連盟のシンボルとして、バッチや旗に使われている。鳩は平和と友愛と共同を表し、富士山は日本を表し、稲穂は日本の農業を表している。FFJ (Future Farmers of Japan) は、組織されている世界9か国のうち、特にアメリカ(FFA)、フィリピン(FFP)、韓国(FFK)と密接な連絡を取りながら活動している。

目 次

FFJの歌／FFJマーク	表紙裏
I 大会実施要項	1
II 大会日程と会場	3
III 大会審査員	5
IV 各種発表会・会議	
(1) 東北連盟第3回代議員会	8
(2) 開始式・閉会式	9
(3) 種目別日程表	10
①プロジェクト発表会	10
②意見発表会	13
③クラブ活動紹介発表会	16
(4) 審査基準と配点	17
①プロジェクト発表会	17
②意見発表会	18
③クラブ活動紹介発表会	18
(5) 出場者名簿	20
①プロジェクト発表会	20
②意見発表会	26
③クラブ活動紹介発表会	29
V 各種技術競技会〈1〉	
(1) 平板測量競技会実施要項	30
(2) 平板測量競技会出場者名簿	34
VI 各種技術競技会〈2〉	
(1) 農業情報処理競技会実施要項	36
(2) 農業情報処理競技会出場者名簿	39
VII 会場案内図	
(1) 名取市文化会館	40
(2) 宮城県農業高等学校	44
(3) 宮城県加美農業高等学校	46
(4) 宮城県亘理高等学校	47
VIII 大会成績(最優秀賞受賞者)	48
IX 近隣医療機関(名取市近郊)	48
大会スローガン・シンボルマーク	50

I 第72回日本学校農業クラブ東北連盟大会令和3年度宮城大会実施要項

趣 旨

日本学校農業クラブ連盟東北連盟は、東北6県の農業に関する学科を置く高等学校の農業クラブ活動を基盤とし、東北連盟大会は全国大会につながるクラブ員の合同学習の場である。

本大会は、日頃の学習成果の発表や農業に関する技術を競い合うことにより、学習した内容を定着させるとともに、クラブ員の連帯感を深め、広い視野のもとに将来のスペシャリストとして地域農業を発展させるための実践的な能力と態度を育成する機会とする。

また、東北の仲間が一堂に会し、日頃の学習成果の相互評価をしながら切磋琢磨し合う場とする。

- 1 開催県 宮城県
- 2 主催 全国農業高等学校長協会東北支部
日本学校農業クラブ東北連盟 宮城県学校農業クラブ連盟
- 3 共催 名取市教育委員会
- 4 後援 宮城県教育委員会、宮城県産業教育振興協会、公益財団法人みやぎ農業振興公社
- 5 期 日 令和3年8月26日(木)～27日(金) 2日間
- 6 大会内容・会場・実施運営校

(1)会場と運営校

大会内容	開催地	会場	実施運営校
プロジェクト発表会 【Ⅰ類】【Ⅱ類】【Ⅲ類】	名取市	名取市文化会館	柴田農林高等学校
クラブ活動紹介			石巻北高等学校 南郷高等学校
意見発表会 【Ⅰ類】【Ⅱ類】【Ⅲ類】 第3回東北連盟代議員会		宮城県農業高等学校 登米総合産業高等学校 小牛田農林高等学校	
農業情報処理競技会	亶理町	亶理高等学校 伊具高等学校	
平板測量競技会	色麻町	加美農業高等学校	加美農業高等学校

名取市文化会館 〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田520番地
電話番号：022-384-8900 FAX番号：022-384-6684

宮城県亶理高等学校 〒989-2361 宮城県亶理郡亶理町字館南56-2
電話番号：0223-34-1213 FAX番号：0223-34-2310

宮城県加美農業高等学校 〒981-4111 宮城県加美郡色麻町黒沢字北條152番地
電話番号：0229-65-3900 FAX番号：0229-65-3901

宮城県農業高等学校 〒981-1242 宮城県名取市高館吉田字吉合66
電話番号：022-384-2511 FAX番号：022-384-2512

※予備会場 宮城県農業・園芸総合研究所 宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地

(2) 大会内容

1) プロジェクト発表会 令和3年度全国大会実施基準に基づき実施

分野Ⅰ類「生産・流通・経営」

- 1 農業生物の育成や生産性向上に関する事
- 2 農業生産物の流通や消費に関する事
- 3 農業の経営や経済活動に関する事

分野Ⅱ類「開発・保全・創造」

- 1 生産物の加工技術や商品に関する事
- 2 国土や地球環境の保全・創造に関する事

分野Ⅲ類「ヒューマンサービス」

- 1 動植物や地域資源の活用に関する事
- 2 地域の食文化や伝統文化の継承に関する事

2) 意見発表会 令和3年度全国大会実施基準に基づき実施

分野Ⅰ類「生産・流通・経営」

- 1 農業生物の育成や生産性向上に関する事
- 2 農業生産物の流通や消費に関する事
- 3 農業の経営や経済活動に関する事

分野Ⅱ類「開発・保全・創造」

- 1 生産物の加工技術や商品に関する事
- 2 国土や地球環境の保全・創造に関する事

分野Ⅲ類「ヒューマンサービス」

- 1 動植物や地域資源の活用に関する事
- 2 地域の食文化や伝統文化の継承に関する事

3) クラブ活動紹介発表会 東北連盟クラブ活動紹介発表会実施要項に基づき実施

4) 平板測量競技会 令和3年度全国大会実施基準に基づき実施

5) 農業情報処理競技会 平成22年度全国大会実施基準に基づき実施

8 会議

- (1) 開始式 (2) 東北連盟第3回代議員会 (4) 審査員合同打合せ会 (5) 閉会式

9 大会参加者 人数制限を行います

大会参加クラブ員、引率教職員、審査関係者、運営担当校生徒教職員のみ

※見学等の参加はお控えください。無観客での実施とする。(感染拡大防止の観点から)

10 審査員

関係高等学校、関係機関職員、学校農業クラブ活動に理解の深い学識経験者などから選出する。

各種発表の審査員7名中6名は、関係高等学校教職員とする。

11 表彰・全国東北大会ブロック代表選出

(1) プロジェクト発表大会、意見発表会、クラブ活動紹介発表会の最優秀賞は1つとし、これをブロック代表とする。なお、最優秀賞の他は優秀賞とする。

(2) 平板測量会、農業情報処理競技会、家畜審査競技会の最優秀賞は1つとし、出場数の1/3を優秀賞とする。

(3) 大会スローガン2点、シンボルマーク1点とする。

12 大会事務局

宮城県農業高等学校

〒981-1242 宮城県名取市高館吉田字吉合66番地

TEL: 022-384-2511 FAX: 022-384-2512

Ⅱ 大会日程と会場

初日 8月26日(木)

行 事		受付時間	開催時間	会 場	
1 プロジェクト発表会	(1) 発表者・引率者受付 (審査員移動)	12:00～12:50	12:55～13:30 13:10～13:50 14:00～14:50 14:00～14:50 15:20～17:20 17:30～17:50 各発表終了後	1 F エントランスホール	名取市文化会館
	(2) 開始式・大会説明 分野「Ⅰ類」			宮城農高→名取市文化会館	
	(3) 記録簿審査 分野「Ⅰ類」			1 F 大ホール	
	(4) リハーサル及び照明・音響確認 分野「Ⅰ類」			1 F 講義室Ⅰ	
	(5) 発表会 分野「Ⅰ類」			1 F 大ホール	
	(6) 審査会 分野「Ⅰ類」			1 F 大ホール	
	(7) 記録簿返却			1 F 講義室Ⅰ	
2	東北連盟代議員・顧問受付 東北連盟第3回代議員会	11:30～12:00	12:10～12:55	農場先端学習センター 農場先端学習センター	
3	審査員受付(プロジェクト・意見) 審査員合同打合せ会(プロジェクト・意見)	11:30～12:00	12:30～12:55	1 F 職員玄関 同窓会館2 F 和室	宮城県農業高等学校
4 意見発表会	(1) 発表者・引率者受付 分野「Ⅱ・Ⅲ類」	12:00～12:50	13:10～13:50 13:45～14:15 13:45～14:15 14:00～14:15 14:00～14:15 14:25～15:35 14:25～15:35 15:50～16:15 15:45～16:15	職員玄関	
	(2) 開始式・大会説明 分野「Ⅱ・Ⅲ類」			2 F 大講義室	
	(3) 審査員打合せ会 分野「Ⅱ類」			同窓会館2 F 和室	
	分野「Ⅲ類」			同窓会館2 F 和室	
	(4) リハーサル及び準備 分野「Ⅱ類」			2 F 大講義室	
	分野「Ⅲ類」			2 F 会議室	
	(5) 発表会 分野「Ⅱ類」			2 F 大講義室	
分野「Ⅲ類」	2 F 会議室				
(6) 閉会式 分野「Ⅱ・Ⅲ類」	2 F 大講義室				
(7) 審査会 分野「Ⅱ・Ⅲ類」	同窓会館2 F 和室				
5 平板測量競技会	(1) 審査員受付(平板測量部門)	9:00～9:30	9:30～11:00 11:00～11:30 12:20～14:12 13:50～15:42 16:00～17:30 各回次終了後	100周年記念会館	加美農業高等学校
	(2) 審査員打合せ会(平板測量部門)	10:30～11:00		100周年記念会館	
	(3) 選手・引率者受付			体育館	
	(4) 開始式・競技説明会			体育館	
	(5) 競技 1回次			グラウンド、生物工学棟	
	2回次			グラウンド、生物工学棟	
	(6) 審査会			100周年記念会館	
(7) 閉会式					
6 農業情報処理競技会	(1) 審査員受付(情報処理部門)	10:00～10:30	10:30～11:00 11:00～11:30 12:00～13:20 13:20～13:30 13:40～13:50 14:00～15:00 15:15～15:45 16:30～18:30	正面玄関	亶理高等学校
	(2) 審査員打合せ会(情報処理部門)	10:30～11:00		4 F 商業演習室	
	(3) 選手・引率者受付			正面玄関	
	(4) 開始式			4 F 商業実践室	
	(5) 機器使用練習			4 F コンピュータ室	
	(6) 競技説明			4 F コンピュータ室	
	(7) 競技(情報知識)			4 F コンピュータ室	
	(8) 競技(表計算・グラフ・考察文書)			4 F コンピュータ室	
	(9) 閉会式			4 F 商業実践室	
	(10) 審査会			4 F 商業演習室	

第2日 8月27日(金)

行 事		受付時間	開催時間	会 場		
1 プロジェクト 発表会	(1) 審査員受付	9:10～9:20		1 F	サブエントランスホール	名 取 市 文 化 会 館
	(2) 発表者受付 分野「Ⅱ・Ⅲ類」	9:10～9:20	9:25～9:50	1 F	エントランスホール	
	(3) 開始式・大会説明 分野「Ⅱ・Ⅲ類」		9:25～10:15	1 F	大ホール	
	(4) 記録簿審査 分野「Ⅱ類」		9:25～10:15	1 F	講義室Ⅰ	
	(4) 記録簿審査 分野「Ⅲ類」			1 F	講義室Ⅱ	
	(5) リハーサル及び照明・音響確認 分野「Ⅱ類」		10:00～10:50	1 F	大ホール	
	(5) リハーサル及び照明・音響確認 分野「Ⅲ類」		10:00～10:50	3 F	小ホール	
	(6) 発表会 分野「Ⅱ類」		11:00～13:00	1 F	大ホール	
(6) 発表会 分野「Ⅲ類」		11:00～13:00	3 F	小ホール		
(7) 審査会 分野「Ⅱ類」		13:30～14:00	1 F	講義室Ⅰ	宮 城 県 農 業 高 等 学 校	
(7) 審査会 分野「Ⅲ類」		13:30～14:00	1 F	講義室Ⅱ		
(8) 記録簿返却		各発表終了後				
(1) 審査員受付 分野「Ⅰ類」	9:10～9:20			職員玄関		
(2) 発表者受付 分野「Ⅰ類」	9:10～9:20			職員玄関		
(3) 開始式・大会説明 分野「Ⅰ類」		9:20～9:50	2 F	大講義室		
(4) 審査員打合せ 分野「Ⅰ類」		9:20～9:50	同窓会館2 F	和室		
(5) リハーサル及び準備 分野「Ⅰ類」		10:10～10:25	2 F	大講義室		
(6) 発表会 分野「Ⅰ類」		10:40～11:50	2 F	大講義室		
(7) 審査会 分野「Ⅰ類」		12:00～12:40	同窓会館2 F	和室		
(8) 閉会式 分野「Ⅰ類」		12:05～12:30	2 F	大講義室		
3 クラブ 活動紹介 発表会	(1) 審査員受付	12:30～12:40		1 F	エントランスホール	名 取 市 文 化 会 館
	(2) 発表者受付	12:30～12:40		1 F	エントランスホール	
	(3) 開始式・説明会		13:15～13:35	3 F	小ホール	
	(3) 審査員打合せ		12:45～13:15	1 F	和室	
	(4) リハーサル及び準備		13:45～14:35	3 F	小ホール	
	(6) 発表会		14:45～16:15	3 F	小ホール	
	(7) 審査会		16:25～16:55	1 F	和室	
	(8) 閉会式		16:25～16:55	3 F	小ホール	
開 始 式 ・ 閉 会 式	開始式			閉会式(競技終了後)		各 会 場
	(1) 開会宣言			(1) 開会宣言		
	(2) 農業クラブ会長挨拶			(2) 運営担当校校長挨拶		
	(3) 審査員紹介(紙面紹介)			(3) 閉会宣言		
	(4) 閉会宣言					

Ⅲ 大会審査員

総合審査長 宮城県農業・園芸総合研究所 所長

高橋 芳 浩

<各種発表会>

- | | | | |
|---|-------------------------------|-----------|----------|
| 1 | プロジェクト発表会・意見発表会 分野Ⅰ類 | | |
| | 審査長 宮城県古川農業試験場 | 場長 | 渡邊 雅 弘 |
| | 審査員 青森県立柏木農業高等学校 | 教諭 | 鳴海 博 孝 |
| | 審査員 岩手県立千厩高等学校 | 教諭 | 三浦 孝 信 |
| | 審査員 秋田県立秋田北鷹高等学校 | 教諭 | 中嶋 川 義 |
| | 審査員 山形県立置賜農業高等学校 | 教諭 | 中川 聡 弘 |
| | 審査員 福島県立福島明成高等学校 | 教諭 | 吉田 克 弘 |
| | 審査員 宮城県迫桜高等学校 | 教頭 | 佐藤 藤 淳 |
| 2 | プロジェクト発表会・意見発表会 分野Ⅱ類 | | |
| | 審査長 宮城県農政部農業振興課 | 農業普及指導専門監 | 泉 澤 弘 子 |
| | 審査員 青森県立三本木農業・
三本木農業恵拓高等学校 | 教諭 | 豊川 良 昭 |
| | 審査員 岩手県立盛岡農業高等学校 | 教諭 | 佐倉 博 和 |
| | 審査員 秋田県立金足農業高等学校 | 教諭 | 近江 広 人 |
| | 審査員 山形県立庄内農業高等学校 | 教諭 | 齋藤 正 裕 |
| | 審査員 福島県立相馬農業高等学校 | 教諭 | 木幡 村 大 |
| | 審査員 宮城県亘理高等学校 | 教諭 | 稲村 大 地 |
| 3 | プロジェクト発表会・意見発表会 分野Ⅲ類 | | |
| | 審査長 宮城県農業大学校 | 校長 | 金岡 裕 司 |
| | 審査員 青森県立五所川原農林高等学校 | 教諭 | 佐藤 雄 大 |
| | 審査員 岩手県立水沢農業高等学校 | 教諭 | 鈴木 木 克 弥 |
| | 審査員 秋田県立増田高等学校 | 教諭 | 藤井 井 亨 |
| | 審査員 山形県立新庄神室産業高等学校 | 教諭 | 長沼 洋 樹 |
| | 審査員 福島県立磐城農業高等学校 | 教諭 | 阿部 有 希 |
| | 審査員 宮城県伊具高等学校 | 教諭 | 清野 英 俊 |
| 4 | クラブ活動紹介発表会 | | |
| | 審査長 宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班 | 指導主事 | 村上 泰 己 |
| | 審査員 青森県立名久井農業高等学校 | 教諭 | 日野澤 義 子 |
| | 審査員 岩手県立大船渡東高等学校 | 教諭 | 小野 悟 |
| | 審査員 秋田県立大曲農業高等学校 | 教諭 | 照井 豊 和 |
| | 審査員 山形県立村山産業高等学校 | 教諭 | 今井 吉 紀 |
| | 審査員 福島県立会津農林高等学校 | 教諭 | 渡部 智 博 |
| | 審査員 宮城県農業高等学校 | 主幹教諭 | 阿部 茂 夫 |

<各種技術競技会>

5 平板測量競技会

審査長	株式会社復建技術コンサルタント	技術管理部検査課	課長	小嶋	克也
副審査長	株式会社ダイワ技術サービス	取締役 技術第1部	部長	佐々木	茂茂
審査員	株式会社復建技術コンサルタント	水工部技術1課		登坂	茂
審査員	株式会社いずみエンジニアリング	技術部	部長	浅野	恵一郎
審査員	株式会社いずみエンジニアリング	技術部測量調査課	課長	立花	啓志
審査員	株式会社大江設計	測量課	課長補佐	村上	清文
審査員	株式会社光生エンジニアリング	測量用地部測量課	課長代理	川合	広治
審査員	株式会社西條設計コンサルタント	業務部測量用地課	技師	遊佐	茂幹
審査員	株式会社西條設計コンサルタント	業務部測量用地課	技師	佐々木	克己
審査員	株式会社西條設計コンサルタント	業務部測量用地課	技師	後藤	浩之
審査員	株式会社センソクコンサルタント	相談役		片寄	晃
審査員	株式会社センソクコンサルタント	相談役		島田	彰久
審査員	株式会社仙南測量設計	空間情報部測量設計課	主任	中鉢	達也
審査員	株式会社ダイワ技術サービス	会長		宮崎	恵志
審査員	株式会社ダイワ技術サービス	技術第1部	第1課長	片寄	努
審査員	株式会社ダイワ技術サービス	技術第1部		渡邊	春雄
審査員	株式会社ダイワ技術サービス	技術第1部	係長	木下	修一
審査員	株式会社古川測量設計事務所	技術部	部長	大場	康弘
審査員	株式会社古川測量設計事務所	常務取締役		鹿又	義則
審査員	株式会社復建技術コンサルタント	技師		瀬戸	勝裕
審査員	株式会社復建技術コンサルタント	技師		金澤	研
審査員	株式会社北水コンサルタント	測量調査部		渡邊	俊明

6 農業情報処理競技会

審査長	宮城県亘理高等学校	校長		松見	早苗
審査員	宮城県亘理高等学校	教頭		浅野	伸一
審査員	宮城県登米総合産業高等学校	教諭		伊澤	裕樹
審査員	宮城県加美農業高等学校	教諭		豊田	茂
審査員	宮城県亘理高等学校	教諭		鈴木	寛之
審査員	宮城県農業高等学校	教諭		佐々木	盛敏

IV 各種発表会・会議

- ◇ 各種競技開始式及び閉会式
- ◇ プロジェクト発表会
- ◇ クラブ活動紹介発表会

〈会場〉 名取市文化会館

- ◇ 東北連盟第3回代議員会
- ◇ 意見発表会

〈会場〉 宮城県農業高等学校

(1) 東北連盟第3回代議員会

日時：8月26日(木) 12:10～12:55

場所：宮城県農業高等学校 農場先端技術学習センター

次 第

- 1 開会のことば
- 2 あいさつ 東北連盟会長 宮城県小牛田農林高等学校 高橋 弘 毅
 東北連盟代表 宮城県小牛田農林高等学校長 穴戸 周 哉
- 3 出席者紹介
- 4 議長選出
- 5 協 議 (1) 第73回日本学校農業クラブ東北連盟大会について
 (2) 令和4年度日本学校農業クラブ東北連盟夏期研修会について
 (3) 各県連提出議題
 (4) その他
- 6 諸連絡
- 7 FFJの歌
- 8 閉会のことば

令和3年度 日本学校農業クラブ東北連盟役員

1 生徒役員

役職名	氏 名	学校名
会 長	高橋 弘 毅	宮城県小牛田農林高等学校
副会長	土井 健 裕	青森県立五所川原農林高等学校
監 事	渡辺 堅 心	福島県立磐城農業高等学校
代議員	橘 幸 恵	岩手県立盛岡農業高等学校
〃	松田 佑 真	山形県立村山産業高等学校
〃	佐藤 暉 晃	秋田県立秋田北鷹高等学校
幹 事	青木 優 奈	宮城県小牛田農林高等学校
〃	佐々木 律	〃
〃	千葉 大 輝	〃
〃	佐野 美 恵	〃
〃	大久保 碧 佑	〃
〃	佐藤 礼 菜	〃
〃	伊藤 綾	〃
〃	佐々木 明日夏	〃
〃	佐々木 杏 時	〃
〃	横塚 悠 香	〃
〃	千田 風 雅	〃

2 成人役員

役職名	氏 名	学校名
代 表	穴戸 周 哉	宮城県小牛田農林高等学校
副代表	工藤 清 寿	青森県立五所川原農林高等学校
監査委員	穂積 慎一郎	福島県立磐城農業高等学校
顧問代議員	田中 満	青森県立五所川原農林高等学校
〃	木田 裕 子	岩手県立盛岡農業高等学校
〃	樺澤 智	山形県立村山産業高等学校
〃	小林 晃	秋田県立秋田北鷹高等学校
〃	浅野 武 己	宮城県小牛田農林高等学校
事務局長	浅野 武 己	宮城県小牛田農林高等学校
事務局	五十嵐 賢 志	宮城県小牛田農林高等学校
〃	菅原 豊	宮城県小牛田農林高等学校

(2) 開始式・閉会式

各会場で競技開始前に実施

開始式次第

- 1 開会の言葉 運営担当校農業クラブ役員
- 2 あいさつ 運営担当校農業クラブ会長
- 3 審査員紹介 紙上での紹介
- 4 閉式の言葉 運営担当校農業クラブ役員

各会場で競技終了後に実施

※プロジェクト発表とクラブ活動紹介発表会では実施しない

閉会式次第

- 1 開式の言葉 運営担当校農業クラブ役員
- 2 あいさつ 運営担当校学校長
- 3 閉式の言葉 運営担当校農業クラブ役員

(3) 種目別日程表

① プロジェクト発表会

分野Ⅰ類

▶ 8月26日(木) 第1日

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
11:30～12:00			審査員受付	宮城県農業高等学校 職員玄関
12:00～12:30			昼食	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
12:00～12:50	発表者・引率者受付 記録簿提出	名取市文化会館1階 エントランスホール		
12:30～12:55			審査員合同打合せ 会	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
12:55～13:30			移動	宮城農高→ 名取市文化会館
13:10～14:30	開始式・大会説明	名取市文化会館1階 大ホール		
13:30～14:50			記録簿審査	名取市文化会館1階 講義室1
14:00～14:50	リハーサル	名取市文化会館1階 大ホール		
15:20～17:20	発表会	名取市文化会館1階 大ホール	発表会	名取市文化会館1階 大ホール
各校発表終了後	記録簿返却			
17:35～18:05			審査会	名取市文化会館1階 講義室1

▶ 8月27日(金) 第2日 ※審査員のみ

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
9:10～			意見発表審査	宮城県農業高等学校 2階大講義室等

分野Ⅱ類

▶ 8月26日(木) 第1日 ※審査員のみ

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
11:30～12:00			審査員受付	宮城県農業高等学校 職員玄関
12:30～12:55			審査員合同打合せ会	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
終了後			意見発表事前審査等	宮城県農業高等学校 同窓会館等

▶ 8月27日(金) 第2日

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
9:10～9:20	発表者・引率者受付 記録簿提出	名取市文化会館1階 エントランスホール	審査員受付	名取市文化会館1階 サブエントランスホール
9:25～9:50	開始式・大会説明	名取市文化会館1階 大ホール		
9:25～10:50			記録簿審査	名取市文化会館1階 講義室1
10:00～10:50	リハーサル	名取市文化会館1階 大ホール		
11:00～13:00	発表会	名取市文化会館1階 大ホール	発表会	名取市文化会館1階 大ホール
各校発表終了後	記録簿返却			
13:30～14:00			審査会	名取市文化会館1階 講義室1

分野Ⅲ類

▶ 8月26日(木) 第1日 ※審査員のみ

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
11:30～12:00			審査員受付	宮城県農業高等学校 職員玄関
12:30～12:55			審査員合同打合せ会	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
終了後			意見発表事前審査等	宮城県農業高等学校 同窓会館等

▶ 8月27日(金) 第2日

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
9:10～9:20	発表者・引率者受付 記録簿提出	名取市文化会館1階 エントランスホール	審査員受付	名取市文化会館1階 サブエントランスホール
9:25～9:50	開始式・大会説明	名取市文化会館3階 小ホール		
9:25～10:50			記録簿審査	名取市文化会館1階 講義室2
10:00～10:50	リハーサル	名取市文化会館3階 小ホール		
11:00～13:00	発表会	名取市文化会館3階 小ホール	発表会	名取市文化会館3階 小ホール
各校発表終了後	記録簿返却			
13:30～14:00			審査会	名取市文化会館1階 講義室2

② 意見発表会

分野Ⅰ類

▶ 8月26日(木) 第1日 ※審査員のみ

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
11:30～12:00			審査員受付	宮城県農業高等学校 職員玄関
12:30～12:55			審査員合同打合せ会	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
12:55～13:30			移動	宮城農高→ 名取市文化会館
13:30～14:50			記録簿審査	名取市文化会館1階 講義室1
15:20～17:20			プロジェクト発表会	名取市文化会館1階 大ホール
17:35～18:05			審査会	名取市文化会館1階 講義室1

▶ 8月27日(金) 第2日

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
9:10～9:20	発表者・引率者受付	宮城県農業高等学校 職員玄関	審査員受付	宮城県農業高等学校 職員玄関
9:20～9:50	開始式・大会説明	宮城県農業高等学校 2階大講義室		
9:20～10:25			審査員打合せ	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
10:10～10:25	リハーサル	宮城県農業高等学校 2階大講義室		
10:40～11:50	発表会	宮城県農業高等学校 2階大講義室	発表会	宮城県農業高等学校 2階大講義室
12:00～12:40			審査会	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
12:05～12:30	閉会式	宮城県農業高等学校 2階大講義室		

分野Ⅱ類

▶ 8月26日(木) 第1日

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
11:30～12:00			審査員受付	宮城県農業高等学校 職員玄関
12:00～12:50	発表者・引率者受付	宮城県農業高等学校 職員玄関		
12:30～12:55			審査員合同打合せ会	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
13:10～13:50	開始式・大会説明	宮城県農業高等学校 大講義室		
13:10～14:15			事前審査	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
14:00～14:15	リハーサル	宮城県農業高等学校 大講義室		
14:25～15:35	発表会	宮城県農業高等学校 大講義室	発表会	宮城県農業高等学校 大講義室
15:45～16:15			審査会	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
15:50～16:15	閉会式	宮城県農業高等学校 大講義室		

▶ 8月27日(金) 第2日 ※審査員のみ

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
9:10～9:20			審査員受付	名取市文化会館1階 サブエントランスホール
9:25～10:50			記録簿審査	名取市文化会館1階 講義室1
11:00～13:00			プロジェクト発表会	名取市文化会館1階 大ホール
13:30～14:00			審査会	名取市文化会館1階 講義室1

分野Ⅲ類

▶ 8月26日(木) 第1日

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
11:30～12:00			審査員受付	宮城県農業高等学校 職員玄関
12:00～12:50	発表者・引率者受付	宮城県農業高等学校 職員玄関		
12:30～12:55			審査員合同打合せ会	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
13:10～13:50	開始式・大会説明	宮城県農業高等学校 大講義室		
13:10～14:15			事前審査	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
14:00～14:15	リハーサル	宮城県農業高等学校 会議室		
14:25～15:35	発表会	宮城県農業高等学校 会議室	発表会	宮城県農業高等学校 会議室
15:45～16:15			審査会	宮城県農業高等学校 同窓会館2階研修室
15:50～16:15	閉会式	宮城県農業高等学校 大講義室		

▶ 8月27日(金) 第2日 ※審査員のみ

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
9:10～9:20			審査員受付	名取市文化会館1階 サブエントランスホール
9:25～10:50			記録簿審査	名取市文化会館1階 講義室1
11:00～13:00			プロジェクト発表会	名取市文化会館1階 小ホール
13:30～14:00			審査会	名取市文化会館1階 講義室1

③ クラブ活動紹介発表会

▶ 8月27日(金) 第2日

時間帯	発表者		審査員	
	内容	会場	内容	会場
12:30～12:40	発表者・引率者受付	名取市文化会館1階 エントランスホール	審査員受付	名取市文化会館1階 エントランスホール
12:45～13:35			審査員打合せ	名取市文化会館1階 和室
13:15～13:35	開始式・説明会	名取市文化会館3階 小ホール		
13:45～14:35	リハーサル			
14:45～16:15	発表会	名取市文化会館3階 小ホール	発表会	名取市文化会館3階 小ホール
16:25～16:55	閉会式	名取市文化会館3階 小ホール	審査会	名取市文化会館1階 和室

(4) 審査基準と配点

① プロジェクト発表会

プロジェクト発表会は、日頃のプロジェクト活動の成果を発表し、クラブ員の3大目標を高めるとともに、専門的な能力や態度を高めることを目的とする。

<審査基準と配点>

項目	事前資料 (Profile)		発表 (Project Publication)			
審査	発表原稿と活動記録簿		発表内容 (Contents)		発表方法 (Presentation)	
配点	25点		45点		30点	
審査項目	1	発表原稿は誤字脱字なく、書かれているか 5点	1	エントリーシートの内容を踏まえた構成であるか 10点	1	発表に関する準備や機器の活用は適切であったか 5点
	2	活動記録簿は研究期間 (Period) の記録であり、計画 (Plan) にしたがった継続的な研究であるか 5点	2	授業での学習を踏まえ計画的に研究が進められているか 10点	2	発表方法や態度は適切であり、分かりやすいものであったか (発表中の特殊なパフォーマンスを評価するものではない) 15点
	3	適切な研究方法 (Do) で、正確な実践記録 (Check) がなされているか 5点	3	持続的・安定的な地域環境や地域創造に配慮した内容となっているか 10点		
	4	信頼性、再現性のあるデータとなっているか (Data) 5点	4	発表内容は精選され、成果は論理的・客観的に検討されているか 15点	3	審査員からの質疑に対して、適切な応答ができているか 10点
	5	掲載されている資料は内容が精選され、適切な内容となっているか (Volume) 5点				

<ペナルティー>

① 発表時間及び準備時間超過による減点

超過時間	30秒まで	30秒超過～ 60秒まで	60秒超過～ 90秒まで	90秒超過～ 120秒まで	120秒を超過し、 打ち切りとなったもの
減点数	2点	4点	6点	8点	10点

② 事前提出書類 (エントリーシート30部、活動記録簿1冊および発表原稿30部) の遅延による減点

提出期限に遅れた場合	提出しない場合
事前資料の点数を0点とする	発表についても審査しない

② 意見発表会

意見発表会は、クラブ員の身近な問題や将来の問題について抱負や意見を交換し、クラブ員の3大目標を高めるとともに、主体的に問題を解決する能力と態度を養うことを目的とする。

<審査基準と配点>

項目	事前資料 (Profile)		発表 (Project Publication)			
審査	発表原稿とエントリーシート		発表内容 (Contents)		発表方法 (Presentation)	
配点	10点		30点		30点	
審査項目	1	発表原稿は誤字脱字なく、書かれているか 5点	1	授業等での学習を踏まえ、段階的な意見構築となっているか 10点	1	発表方法や態度は適切であったか（発表中の特殊なパフォーマンスを評価するものではない） 5点
	2	発表原稿はエントリーシートの内容を踏まえた構成であるか 5点	2	意見の論旨が明確で一貫性のある意見であるか 10点	2	意見は分かりやすく、聴き手によく理解されたか 15点
			3	意見が具体的で説得力があり、建設的であるか 10点	3	審査員からの質疑に対して、適切な応答ができているか 10点

<ペナルティー>

① 発表時間超過による減点

超過時間	30秒まで	30秒超過～60秒まで	60秒を超過し、打ち切りとなったもの
減点数	1点	2点	3点

② 発表原稿遅延による減点

	提出期限に遅れた場合	提出しない場合
減点数	10点	審査しない

③ クラブ活動紹介発表会

クラブ員の身近な問題や将来の問題について抱負や意見を交換し、主体的に問題を解決する能力と態度を養うことを目的とする。

令和3年度東北ブロック割り当てテーマ

「農業クラブ活動を通して、農業の魅力を感じてもらい、後継者を増やすためには何ができるか」

<評価基準>

項目	発表内容			発表方法		
配点	70点			30点		
審査項目	1	問題のとらえ方は良かったか	15点	1	内容の構成・順序は良かったか	15点
	2	対策は適切であったか	10点			
	3	実践活動はどうであったか	役員活動			
			クラブ員の活動	10点		
	4	成果はどうであったか	15点	2	準備と活用が適切であったか	15点
5	今後の課題のとらえ方は良かったか	10点				

<全国大会「クラブ員代表者会議」事例発表選出の観点と方法>

(ア) 事例発表選出の観点

- a 割り当てテーマに合致する内容を備えているか
- b 事例発表者としてふさわしい話題提供材料を含んでいるか
 - ・活動の着眼点がユニークで他の参考になる。
 - ・実践方法に他の模範となるものがある。
 - ・活動実践が特に優れている。

- (イ) 事例発表の選出は、審査員会議における協議または投票により決定する。
投票による場合は、過半数の推薦を得たものを代表とする。

(5) 出場者名簿

① プロジェクト発表会

分野 I 類

発表順位	県名	題名
1	青森県	私たちの「初恋物語」 ～ First Love を貫いた20年間の奇跡～

●発表要旨

私達が開発・育成してきたりんご新品種「初恋」は、着色・食味ともに良好で、貯蔵性も比較的良い優良品種です。このりんごについて、生産者の理解を図り、需要を高め販路拡大に繋げることは、青森県のりんご産業の発展につながることを確信しています。

今回は、新品種「初恋」の研究結果と、普及活動を軌道に乗せることができた過程を発表します。

青森県立弘前実業高等学校

農業経営科 3年 白戸 芽依・藤嶋 咲・山崎 結奈 他5名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
2	秋田県	農業の省力化と丈夫な稲の栽培を目指して

●発表要旨

育苗期間の苗の状態に着目し、本校で取り入れている「密苗」栽培のデメリットである徒長苗や老化苗、ムレ苗等の発生にスポットをあて、健苗ローラーを使用し、苗丈や茎の太さ、根の状態について調査を行った。健苗ローラーの有無で苗の生育の違いや、ばか苗の発生数に差があったことを発表する。

秋田県立大曲農業高等学校

農業科学科 3年 高橋 颯汰・嵯峨 睦生 他2名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
3	福島県	安達東高校 オーガニック プロジェクト ～SDGsの目標達成と有機栽培を取り入れた持続可能な生産・流通について～

●発表要旨

コロナ禍で活動が制限された昨年は、SDGsについて理解を深めた。農業こそ持続可能、農業こそSDGsに貢献できるというキーワードのもと福島県農業高校初の「有機JAS認証」を取得した。食品残渣を混ぜ合わせ、SDGsに貢献する地元堆肥を有効活用して有機野菜の生産を行い、流通経路を確保するため食品小売業者と産学連携を実現した。

福島県立安達東高等学校

総合学科 2年 菅野 葉月・吉田みさき 他1名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
4	宮城県	#ZEROマイプラ ～守れ閑上浜！安全な食料生産と豊かな海づくり～

●発表要旨

水田用慣行性肥料には効果を長期にわたって効かせるためにプラスチックでコーティングを行っている。それはいずれ水田から川、海に流れマイクロプラスチックになっていた。肥料の効果が遅いウレアホルムを使用することで、4分の1のプラスチックを削減した肥料を開発し、検証して商品化することができた。

宮城県農業高等学校

農業科 3年 菅原 愛斗・小野寺尋斗・石坂 春輝 他3名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
5	岩手県	炭をあげよう！

●発表要旨

授業を通して牛とかかわる機会が沢山ある。可愛い目、温厚な性格をしている牛が大好きだ。しかし、気になる問題がある。それは「糞の臭い」。この臭いを軽減するため、牛に炭を給与し、臭いの軽減を確認した。これは、SDGsの目標達成にも繋がる。また、これは、牛の腸内環境を整えることにも関係していることがわかり、牛の健康にも繋がることを地域へ発信した。

岩手県立盛岡農業高等学校

動物科学科 3年 橘 幸恵 他3名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
6	山形県	いも煮の旬は8月から！ 季節はずれの山形県産サトイモの生産・流通に関する取り組み

●発表要旨

私達は、農業学習で山形県産サトイモに関する課題を見つけた。そこで、山形県内でサトイモを8月に収穫するための技術開発や収穫後の販路開拓などを実施した。また、コロナ禍でサトイモの消費量が減少したため、地域産業と連携し、サトイモを用いた商品開発を行い、販売することで、消費の回復を図った。

山形県立村山産業高等学校

農業環境科 3年 柴田 梨奈
農業経営科 3年 古瀬 真咲 他7名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
7	宮城県	豚の未来

●発表要旨

家畜は、アメリカなどの海外から輸入されたトウモロコシを主体とした飼料が与えられており、その自給率は12%と決して高いとはいえない。

飼料用米を食べた畜産物が市場に流通してきている中、本校では飼料用米を混合したオリジナル飼料にて豚の肥育に取り組んできた。高品質で肥育時間短縮そして低価格で消費者に提供することを目標としてきた。

宮城県小牛田農林高等学校

農業技術科 3年 千葉 愛永・千田あす美・檜皮菜々子 他5名
(発表時間 分 秒)

分野Ⅱ類

発表順位	県名	題名
1	岩手県	地域食材の新たな有効利用 ～米麴と二子芋を使ったソーセージの開発と普及～

●発表要旨

北上市二子町在住の研究班の菅原は、地元の特産品である二子芋の生産量や担い手が年々減少していることに危惧している。そこで、研究班に相談し新商品の開発に乗り出した。試行錯誤の末ソーセージに添加できる米麴や二子芋の適正量を産学官民の連携の元に確立させた。来年の新春販売に向けて企業との連携も進めている。

岩手県立花巻農業高等学校

食農科学科 3年 高橋 恋春・阿部 佳奈・菅原 小聖 他4名

(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
2	宮城県	魅力と可能性の追求 ～加美農と地域が紡ぐ未来の米作り～

●発表要旨

JGAP認証の取り組みを初め、色麻町が先祖代々維持してきた水管理システムや豊かな自然環境の維持から認証を受けた世界農業遺産「大崎耕土」の魅力と可能性を追求し、地域が秘める魅力と可能性を付加価値に変え、未来へ繋がる安心安全な米作りの実践を目指したプロジェクトをスタートさせました。

宮城県加美農業高等学校

農業科 3年 大森 南美 他7名

(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
3	宮城県	サクラの新品種開発で桜の緑被率を上げる ～被災農業高校が立ち向かう震災10年目の挑戦！～

●発表要旨

桜を津波地域に植えているが、人を魅了する桜とより多くの地域住民をつなぐことで緑被率も上がると考えて品種開発も行ってきた。選定種は塩害が非常に起き難く、CO2を多く取り込む形質も見られた。そこで、集落が移転した玉浦西地区から1字貰って「玉夢桜」と命名、申請したところ新品種に認定された。現在は苗生産を本格化させている。

宮城県農業高等学校

食品化学科 3年 烏山 優里・識名 衣吹 他5名

(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
4	福島県	宇津峰山に山野草の群生地復活と憩いの場構築のこころみ

●発表要旨

地域の山「宇津峰山」は、歴史のある風光明媚な山である。しかし、近年管理が行き届かず山野草等の絶滅が問題になり、地域と学校が協力して群生地復活のための活動を行ってきた。現在では、レンゲツツジの移植やヤマユリのイノシシからの防護対策等もとりながら、市民が集える憩いの場造りを目指して活動を続けている。

福島県立岩瀬農業高等学校

園芸科学科 2年 行武 美晴・車田 朱璃・溝井 麻未 他3名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
5	秋田県	学んだことを生かして地域課題を解決！！ ～高校生による森林整備ボランティア事業「森林バスターズ」～

●発表要旨

私たちが住む北秋田市は、多くの資源を抱える地域である。しかし、私有林所有者のうち、半数以上が何らかの理由で森林管理を行っていないことが調査で明らかになった。私たちの先輩はこうした状況を「地域課題」と考え、高校生による森林整備ボランティアグループ「森林バスターズ」を結成し、山林整備に困っている所有者の力になるべく活動を行った。

私たちもその意思を受け継ぎ「11代目森林バスターズ」として活動を展開し、地域課題解決のための活動を展開した。

秋田県立秋田北鷹高等学校

緑地環境科 3年 加藤 美空・松前谷 樹・工藤 靖凧 他3名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
6	山形県	花に懸ける過去と未来の地域と企業 ～紅染まり再び色づく村の初夏～

●発表要旨

鮭川村の花であるミチノクヒメユリを活用した研究を行ったもの。半世紀前に50万本の切り花を生産した産地は消滅し、観賞用に栽培する人が1人だけとなる。強い危機感を抱いた私たちは有名無実化していく花の価値と有用性を再認識できるよう、鮭川村や企業とも連携し商品化に向け取り組んでいる。

山形県立新庄神室産業高等学校

生物生産科 3年 津藤 沙季・三原 瑚白 他8名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
7	青森県	グランドカバープランツの効率的な増殖技術の開発と応用

●発表要旨

長年、校内外の緑化をリードしてきた園芸科学科草花班であるが、今年度、園芸科学科（通称：H科）は52年の歴史に幕を閉じる。人口減少や高齢化、そして、学科統廃合に直面している立場だからこそ、維持管理の難しさ分かる。本研究は、持続可能な緑化をテーマに未来に向けた緑化の提言である。

青森県立名久井農業高等学校

生園芸科学科 3年 立花 璃美・石屋理桜菜・宮川 杏莉 他7名
(発表時間 分 秒)

分野Ⅲ類

発表順位	県名	題名
1	宮城県	介護老人保健施設での園芸療法の実践

●発表要旨

国内における認知症の方の割合が年々上昇している。

わたし達は高齢者の方々に楽しみや生きがいのある生活を送っていただきたいと考え、認知症の進行を遅らせたり、楽しみを増やしたりするために園芸活動を取り入れた療法について研究することにした。

介護老人保険施設に協力をいただき、施設利用者へ草花の寄せ植えや、ドライフラワーを使ったしおり作りなどの園芸活動を実践した。

宮城県農業高等学校

生活科 3年 中村 綺音・佐藤 茜・佐藤蘭々花 他7名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
2	福島県	僕たちの新3K農業 ～コスト削減、カッコよく、感動のある～

●発表要旨

現在、日本の農業の課題として農業従事者の減少や高齢化が課題として挙げられます。その背景には農業の3K「キツイ・汚い・危険」などのマイナスな印象が関わってきているのではないかと私たちは考えました。会津農林高校作物専攻班では、イネ栽培において「コスト削減・かっこよく・感動のある」新3K農業を目標に掲げ、「密苗栽培」「ドローンによる生育診断」「販売」に取り組みました。

福島県立会津農林高等学校

農業園芸科 3年 板橋 駿斗・矢部 神聖 他5名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
3	宮城県	お米の魅力再発見 ～食育活動と連携で地域のお宝伝えます～

●発表要旨

お米の消費量は50年前の2分の1まで減少したため、研究によってお米の消費量をあげようとした。目をつけたのは観光業と食育との連携。小学校と連携しておむすびやどんぶりの魅力を発信した。更に地元企業と連携して開発した商品を商品化して販売を行い、食育を進めながら、お米の消費量を上げる研究を行った。

宮城県農業高等学校

農業科 3年 高村 愛心・猪股 春花・加藤 妃南 他6名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
4	山形県	上杉鷹山公から受け継がれた“むくり鮎”を守れ ～伝統の食文化継承大作戦～

●発表要旨

米国第35代大統領のケネディも尊敬した米沢藩の上杉鷹山公は、200年以上も昔に領民の食や健康を守るため鯉、鮎、ウコギという3つの食文化を根付かせた。しかし、鮎は水路のコンクリート化や魚食性外来魚の異常繁殖によって激減し、伝統の食文化“むくり鮎”も高齢化のため途絶えようとしている。そこで私たちは、むくり鮎の継承に向け立ち上がった。

山形県立置賜農業高等学校

食料環境科 3年 高野瑚々亜・佐藤莉々輝・青木 祥汰 他3名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
5	青森県	糸のように繋ぐ地域活性化を目指して ～わだいなずくりはだいなずから～

●発表要旨

私たちは地域の伝統食である「ごど」の開発と普及活動に取り組んでいます。地域の先人たちは大豆の生産から自分たちで行い、各家庭で「ごど」を作り食してきました。現在、大豆栽培の減少とともに「ごど」は忘れ去られつつあります。本発表では大豆を活用した地域活性化と、「ごど」の開発に向けた取り組みについて発表します。

青森県立三本木農業・三本木農業恵拓高等学校

農業経済科 3年 大阪 優菜・築場 涼香 他2名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
6	秋田県	届け ～ワタで繋がる秋田と世界～

●発表要旨

自給率がほぼ0%の綿花栽培が秋田で可能か、実証実験を行い、オーガニックコットンの有機栽培に取り組んでいる。ワタを知りワタを活用することで秋田の農地再生・環境保全・農福連携に寄与したい。また、ワタの優しさを生かした社会貢献として、生理の貧困に悩む女性のために布ナプキンを作成し、秋田と世界を繋げることができた。

秋田県立金足農業高等学校

生活科学科 3年 小野崎 光・梶原 梨奈・鎌田 葵 他3名
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
7	岩手県	エゴマで地域に笑顔と活力を！ ～商品開発から広がる地域連携～

●発表要旨

遠野市の耕作放棄地解消の取り組みとして、遠野市農業委員会と連携しエゴマ栽培を始めた。播種から収穫まで行い、エゴマ油の搾油に成功した。搾油したときに残るエゴマ粉に付加価値を付けるために、エゴマパンの開発に挑戦した。商品開発をとおして、エゴマの販路拡大と生産拡大、そして地域農業の活性化を目指して遠野市と一体となって研究している。

岩手県立遠野緑峰高等学校

生産技術科 3年 鈴木 紅咲・矢吹 桃菜 他7名
(発表時間 分 秒)

② 意見発表会

分野 I 類

発表順位	県名	題名
1	山形県	我が家の経営戦略 ～つや姫マイスターへの道～

山形県立庄内農業高等学校 食料生産科 2年 伊藤 裕太
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
2	青森県	スイッチ

青森県立名久井農業高等学校 環境システム科 3年 田中 七海
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
3	宮城県 1	「土をつくり 草をつくり 牛をつくる」 ～粗飼料生産で未来につなぐ～

宮城県加美農業高等学校 農業科 3年 八巻 楓
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
4	岩手県	誠実に向き合う

岩手県立花巻農業高等学校 生物科学科 2年 似里 桜嘉
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
5	秋田県	それでも私は有機農家を増やしたい

秋田県立大曲農業高等学校 農業科学科 3年 小田島こゆき
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
6	宮城県 2	目指せ世界！私の和牛戦記

宮城県農業高等学校 農業科 3年 若松彩唯華
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
7	福島県	人の輪で育む地域農業の明るい未来 ～スマート農業を通して私が伝えたいこと～

福島県立相馬農業高等学校 食品科学科 3年 寺澤 もえ
(発表時間 分 秒)

分野Ⅱ類

発表順位	県名	題名
1	青森県	決め手は緑育心、駆除から供養へ

青森県立名久井農業高等学校 生物生産科 3年 中田 彩賀
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
2	宮城県2	困難を乗り越え、持続可能な酪農経営を目指す

宮城県加美農業高等学校 農業機械科 3年 齋藤 大輝
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
3	宮城県1	魔法ではじまる発酵の可能性

宮城県農業高等学校 食品化学科 2年 目黒 花織
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
4	秋田県	「裏の畑に居ります」

秋田県立大曲農業高等学校 農業科学科 2年 片野 芹菜
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
5	山形県	農福連携による上山自慢の特産品開発を目指して

山形県立上山明新館高等学校 食料生産科 3年 石沢 華
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
6	岩手県	命を育てる側と奪う側の境で

岩手県立遠野緑峰高等学校 生産技術科 3年 高成 永遠
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
7	福島県	大熊×いちご×私 ～3年間の取り組み～

福島県立ふたば未来学園高等学校 総合学科 3年 久保木ふうか
(発表時間 分 秒)

分野Ⅲ類

発表順位	県名	題名
1	宮城県1	「伝統」すぎない伝統野菜 ～小瀬菜大根を未来へ～

宮城県加美農業高等学校 生活技術科 3年 小山 夕月
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
2	宮城県2	米と和食で紡ぐ観光創出

宮城県農業高等学校 農業科 2年 船山奈月美
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
3	青森県	健康的な笑顔を取り戻すために

青森県立弘前実業高等学校 農業経営科 3年 吉原 優
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
4	岩手県	当たり前の生活を提供したい

岩手県立盛岡農業高等学校 人間科学科 3年 山蔭こころ
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
5	山形県	見つけた！子どもの食や健康を支える夢 ～食と愛をつなぐ農福連携活動から学んだこと～

山形県立置賜農業高等学校 食料環境科 3年 高橋 小雪
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
6	福島県	南相馬の郷土料理 ～ベンケイから広がる輪～

福島県立相馬農業高等学校 食品科学科 3年 西内 麻尋
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
7	秋田県	農業がくれた笑顔と自信

秋田県立大曲農業高等学校 生活科学科 3年 進藤 瑞華
(発表時間 分 秒)

③ クラブ活動紹介発表会

発表順位	県名	題名
1	宮城県 2	伝統野菜 ～未来へ継ぐ大崎耕土～

宮城県小牛田農林高等学校 農業技術科 2年 佐々木 律・石川 翠・佐々木杏時
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
2	宮城県 1	Ready for sustainable

宮城県南郷高等学校 産業技術科 3年 伊藤 妃奈・小原 祐樹・木村斗輝天・及川 碧・鈴木 彩水
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
3	秋田県	金農から地域を元気に ～農業後継者を増やすためにできること～

秋田県立金足農業高等学校 造園緑地科 2年 斎藤 真菜 生物資源科 1年 加藤 百華
造園緑地科 1年 三浦 香麗・森川 和奏・渥美 叶萌
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
4	青森県	未来拓創 ～農業クラブ活動を通じて、農業の魅力を感じてもらい、後継者を増やすためには何ができるか～

青森県立三本木農業・三本木農業恵拓高等学校
植物科学科 3年 藤原 龍二・三浦 愛菜・工藤 りん・工藤 瑞歌・小泉 茉耶
鶴居 陽向・坂部 白虎・清川 碧衣・笹森 嵩平・丸谷 昂太
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
5	岩手県	農クが繋ぐ未来 農業クラブ活動を通して、農業の魅力を感じてもらい、後継者を増やすために何ができるか

岩手県立遠野緑峰高等学校
生産技術科 2年 佐々木愛莉・佐々木萌叶・菊池 怜雅・佐々木 渚・君崎 涼音
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
6	福島県	Reborn岩農 ～GAP挑戦から始まる未来の農業者～

福島県立岩瀬農業高等学校
園芸科学科 3年 井上 黎 ヒューマンサービス科 3年 草野 倅
食品科学科 2年 蛭田 周夏・渡辺 流楓・服部 紗奈
(発表時間 分 秒)

発表順位	県名	題名
7	山形県	農業クラブ活動を通して、農業の魅力を感じてもらい、 後継者を増やすために何ができるか

山形県立置賜農業高等学校 食料環境科 2年 安部 尋・高山 阜真・羽島実乃里・池内 春日
(発表時間 分 秒)

V 各種技術競技会

◇ 平板測量競技会

《会場》 宮城県加美農業高等学校

(1) 平板測量競技実施要項

- 1) 目的 教科の学習や学校農業クラブ活動を通して得た測量技術の成果を発表し、その実力を競い合い、職業的能力を高めることを目的とする。
- 2) 会場 宮城県加美農業高等学校
〒981-4111 宮城県加美郡色麻町黒沢北條152
- | | |
|----------------|-----------------------|
| 選手・引率者受付 | (体育館入り口) |
| 審査員受付 | (100周年記念会館入り口) |
| 開会式 選手・引率者・審査員 | (体育館) |
| 選手・引率者昼食 | (体育館) |
| 審査員昼食 | (100周年記念会館) |
| 1次作業・2次作業 | (グラウンド) |
| 3次作業 | (生物工学棟 植物バイオ室、畜産バイオ室) |
- 3) 期 日 令和3年8月26日(木)
- 4) 実施基準 全国大会実施基準(平成3年度)による。
なお、令和元年度第70回全国大会報告集の平板測量競技会事前Q&Aを参照のこと。
- 5) 競技内容 平板による境界線測量および三斜法・三辺法による面積計算
- 6) 日 程

① 8月25日(水)

審 査 員	
内 容	会 場
審査員打ち合わせ 13:30～16:30	競技場設置(グラウンド)

① 8月26日(木)

選 手 ・ 引 率 者		審 査 員	
10:30～11:00	受付(体育館)	9:00～9:30	受付(100周年記念会館)
		9:30～11:00	打ち合わせ(100周年記念会館)
11:00～11:30	開始式・競技説明会(体育館)		
11:30～12:20	昼食・休憩(選手・引率者:体育館、審査員:100周年記念会館)		

晴 天 時

選手・引率者				審 査 員	
1 回 次		2 回 次		1 回 次	2 回 次
12:20 ~ 12:30	移動・集合			12:20 (グラウンド集合)	
12:30 ~ 12:40	器具点検			1 回 次 競 技 審 査	
12:40 ~ 12:50	踏 査				
12:50 ~ 13:20	第 1 次 作 業				
13:25 ~ 13:40	第 2 次 作 業				
13:40 ~ 14:00	移 動	13:50 ~ 14:00	移 動		
14:00 ~ 14:12	第 3 次 作 業	14:00 ~ 14:10	器具点検		
		14:10 ~ 14:20	踏 査		
		14:20 ~ 14:50	第 1 次 作 業		
		14:55 ~ 15:10	第 2 次 作 業	14:30 ~ 採点・集計 (100周年記念会館)	2 回 次 競 技 審 査
		15:10 ~ 15:30	移 動		
		15:30 ~ 15:42	第 3 次 作 業		
第 1 次・第 2 次 作 業 場 所 グラウンド		第 1 次・第 2 次 作 業 場 所 グラウンド			
第 3 次 作 業 場 所 三斜法： 生物学棟 植物バイオ室		第 3 次 作 業 場 所 三斜法： 生物学棟 植物バイオ室			
三辺法： 生物学棟 畜産バイオ室		三辺法： 生物学棟 畜産バイオ室			
競技終了後解散				16:00 ~ 採点・集計・審査会 (100周年記念会館)	

雨 天 時

選手・引率者				審 査 員	
全チーム				競 技 審 査	
12:20 ~ 12:30	移 動			移 動 (植物バイオ室)	
12:30 ~ 12:40	器具点検				
12:40 ~ 13:10	第 1 次 作 業				
13:10 ~ 13:20	第 1 次 作 業 回 収 ・ 移 動 ・ 第 2 次 作 業 準 備				
13:20 ~ 13:32	第 2 次 作 業				
※第 1 次・第 2 次 作 業 場 所 第 1 次 作 業 生物学棟 植物バイオ室 第 2 次 作 業 三斜法：生物学棟 植物バイオ室 三辺法：生物学棟 畜産バイオ室					
競技終了後解散				14:00 ~ 採点・集計・審査会 (100周年記念会館)	

- 7) 実施要領
- ① 参加人数は、1チーム3名とする。ただし、補欠1名を認める。
 - ② 競技は、第1次作業から第3次作業まで通して行い、同一会場で2回に分けて行う。前日の会場の下見は不可とする。
 - ③ 競技当日の集合・点呼は、競技会場で行う。
 - ④ 縮尺は1/200とする。
 - ⑤ 荒天時は、データを与えて内業のみとする。ただし、小雨の場合には競技を実施するので、各自雨具を準備すること。なお、1回次開始後は天候変化があっても、原則として競技の変更は行わない。
 - ⑥ 出場順位は、令和3年度東北連盟第1回代議員会で決定する。

8) 競技実施上の注意

以下に定める詳細以外の表彰、一般注意事項、協議基準、実施細目にあつては、令和3年度日本学校農業クラブ全国大会実施基準並びに令和元年度第70回全国大会報告書平板測量競技会事前Q&Aにより行う。

☆ 晴天時

- ① 測点は、競技場に色分けした杭（釘）で位置を表示する。
- ② 第2次作業における検線の測定の際は、競技実施時に指定された杭からK点までを測定する。
- ③ 競技時間の打ち切りは、事務局より指示する。
- ④ 競技の流れ
 - 1 集合場所で、審査員より器具（全ての作業で使用する器具を持参）の点検を受ける。点検終了後、図紙を受け取り、平板に貼り付け、係員の誘導により競技場へ向かう。
 - 2 競技開始前に審査員の誘導により踏査する。踏査終了後、サークル内で競技開始の合図を待つ。
 - 3 競技開始は回次ごとに審査長の旗の合図により一斉にスタートする。
※頭上で旗を3回まわす『用意』→旗を頭上から振り下ろす『始め』
 - 4 1次作業を終えたチームは、平板を据え付けたまま巻き尺を巻き、ポールを所持して最終測点に集合し、声と挙手で終了を審査員に伝える。
審査員はその場で直ちに水平位置の閉合誤差を点検する。
 - 5 1次作業の点検を終えたチームは平板・図紙を提出し、スタート地点に戻り、サークル内で2次作業の準備をして待機する。全チームの準備が整い次第、オフセット野帳が配布される。その後、2次作業開始の合図を待つ。
 - 6 2次作業開始の合図は、3と同様に行う。
 - 7 2次作業が終了したチームは、巻き尺を巻き取り、ポールなどの必要器具を持ってスタート地点に集合し、声と挙手で終了を審査員に伝え、オフセット野帳を審査員に提出する。
 - 8 オフセット野帳提出後、K点から指定された測点までの距離を測定する。測距は選手がK点、審査員が測点に巻き尺をあて、読み取る。
 - 9 3次作業は、開始前に平板・図紙・オフセット野帳・面積計算簿などを確認し、競技開始の合図を静かに待つ。
 - 10 3次作業開始の合図は、審査員の「用意・始め」の発声により一斉にスタートする。
 - 11 3次作業を終えたチームは、無言で挙手により合図をする。合図を審査員が確認後、計算簿、図面を裏返して全チームが終了するまで静かに待ち、審査員の指示により退室する。退室後は解散とする。一度終了の合図を行ったチームは、裏返した後に計算簿、図面に触れてはいけない。

★雨天時

- 1 1次作業開始前に作業に必要な全ての器具の点検を受け、審査員から直角座標値を記入した用紙、図紙、オフセット野帳を受け取り、開始の合図を待つ。
- 2 1次作業開始の合図は、審査員の「用意・始め」の発声により、13チーム一齐に作業をスタートする。
- 3 1次作業を終えたチームは、無言で挙手により合図をする。合図を審査員が確認後、用紙、図紙、野帳を裏返して全チームが終了するまで静かに待ち、指示により退室する。
1度終了の合図を行ったチームは、裏返した計算簿、図面に触れてはいけない。
- 4 2次作業の開始前に、作業に必要な器具の点検を受け、審査員より図紙、オフセット野帳、面積計算簿を受け取り、競技開始の合図を静かに待つ。
- 5 2次作業の開始は、1次作業の2と同様に行う。
- 6 2次作業を終了したチームは、無言で挙手により合図をする。合図を審査員が確認後、仕上がり図面、オフセット野帳、面積計算簿を裏返して、全チームが終了するまで静かに待ち、指示により退室する。退室後は解散とする。
1度終了の合図を行ったチームは、裏返した仕上がり図面、野帳、面積計算簿に触れてはいけない

9) 審査長による指示事項・連絡および注意事項

- 1 競技場への立ち入りは、審査員、係員、補助員及び選手のみとする。
- 2 競技場への入退場は、係員の指示に従うこと。
- 3 競技に使用する野帳、用紙（晴天・雨天）及び測点杭は、競技説明会場に掲示する。
- 4 選手の服装は、実習服及び帽子と地下足袋、安全靴または運動靴とし、説明会場で配布されたゼッケンを着用する。
- 5 選手は競技中、一切の指導助言を受けることができない。
- 6 選手は競技中、事故ある場合でも交代することはできない。審査員の許可なく競技場を離れた場合は、その本人は失格とする。
- 7 競技は2回次に分けて実施する。
- 8 競技場は7会場とし、競技場ごとに測点杭の色分けで示す。

競技場記号	A	B	C	D	E	F	G	※ K点の杭は測点と同様の色とする。
測点杭の色	緑色	白色	赤色	青色	黄色	桃色	茶色	

10) 競技参加資格 東北ブロックの農業クラブ員で、それぞれ各県で選出された単位クラブの代表2チームまで参加できる。なお、開催県は3チームとする。

11) 表彰 入賞チームに対して次のとおり表彰を行う。
 ① 最優秀賞 1チーム
 ② 優秀賞は参加チーム数の約1／3とする。

(2) 平板測量競技出場者名簿

県名	出場番号	出場回数	競技場番号	学校名	学科	学年	氏名
青森1	1	1	E	青森県立三本木農業 三本木農業恵拓高等学校	環境土木科	3年	水尻 翔
					環境土木科	3年	豊田 小乃美
					環境土木科	3年	中立 川 楓 翔
					環境土木科	3年	立花 春 華
青森2	2	1	A	青森県立名久井農業	環境システム	3年	野田 龍輝
					環境システム	3年	中村 峻介
					環境システム	3年	金山 美咲
岩手1	3	1	G	岩手県立花巻農業高等学校	環境科学科	3年	高橋 悠希
					環境科学科	3年	菊池 聖
					環境科学科	3年	菊池 優
					環境科学科	1年	伊藤 詩史
岩手2	4	2	A	岩手県立盛岡農業高等学校	環境科学科	2年	大沼 麻子
					環境科学科	2年	晴山 佑星
					環境科学科	2年	阿部 司
					環境科学科	2年	阿部 颯太
秋田1	5	1	B	秋田県立金足農業高等学校A	造園緑地科	2年	三村 美咲
					造園緑地科	2年	鈴木 木 莉 音
					造園緑地科	2年	新岡 莉 音
秋田2	6	1	F	秋田県立金足農業高等学校B	環境土木科	1年	伊藤 拓哉
					環境土木科	1年	北林 優斗
					環境土木科	1年	吉田 耀基
					環境土木科	1年	中泉 暖
山形1	7	2	D	山形県立置賜農業高等学校	食料環境科	3年	塚田 浩人
					食料環境科	3年	山賀 潤幸
					食料環境科	3年	山葉 嶺光
					食料環境科	3年	八 葉 優介
山形2	8	2	B	山形県立庄内農業高等学校	食料生産科	3年	五十嵐 潤
					食料生産科	3年	金野 成吾
					食料生産科	3年	佐藤 未来
					食料生産科	3年	志田 陽人
福島1	9	1	D	福島県立小野高等学校	総合学	3年	赤石 澤 涼
					総合学	3年	上野 永 遠
					総合学	3年	二瓶 拓真
					総合学	3年	郡司 大 嵩
福島2	10	1	C	福島県立岩瀬農業高等学校	環境工学	2年	青木 凛音
					環境工学	2年	大竹 桐斗
					環境工学	2年	小林 健人
					環境工学	2年	小渡 邊 祥多
宮城1	11	2	E	宮城県加美農業高等学校	農業機械科	3年	川熊 大翼
					農業機械科	3年	佐々木 陸光
					農業機械科	3年	武田 涼輔
宮城2	12	2	F	宮城県小牛田農林高等学校	農業技術科	3年	佐藤 謙
					農業技術科	3年	田生 遥菜
					農業技術科	3年	横塚 悠香
					農業技術科	3年	及川 花 歩
宮城3	13	2	C	宮城県農業高等学校	農業機械科	3年	阿部 龍斗
					農業機械科	3年	大波 伯 人
					農業機械科	3年	武石 陽心
					農業機械科	3年	遠藤 大

VI 各種技術競技会

◇ 農業情報処理競技会

《会場》 宮城県亘理高等学校

(1) 農業情報処理競技会実施要項

(1)会 場 宮城県亶理高等学校
〒989-2361 宮城県亶理郡亶理町館南56-2
TEL：0223-34-1213 FAX：0223-34-2310

(2)期 日 令和3年8月26日(木)

(3)運 営 校 宮城県亶理高等学校
〒989-2361 宮城県亶理郡亶理町館南56-2
TEL：0223-34-1213 FAX：0223-34-2310

宮城県伊具高等学校
〒981-2153 宮城県伊具郡丸森町雁歌51
TEL：0224-72-2020 FAX：0224-72-1322

(4)実施基準 全国大会実施基準（平成22年度）による。

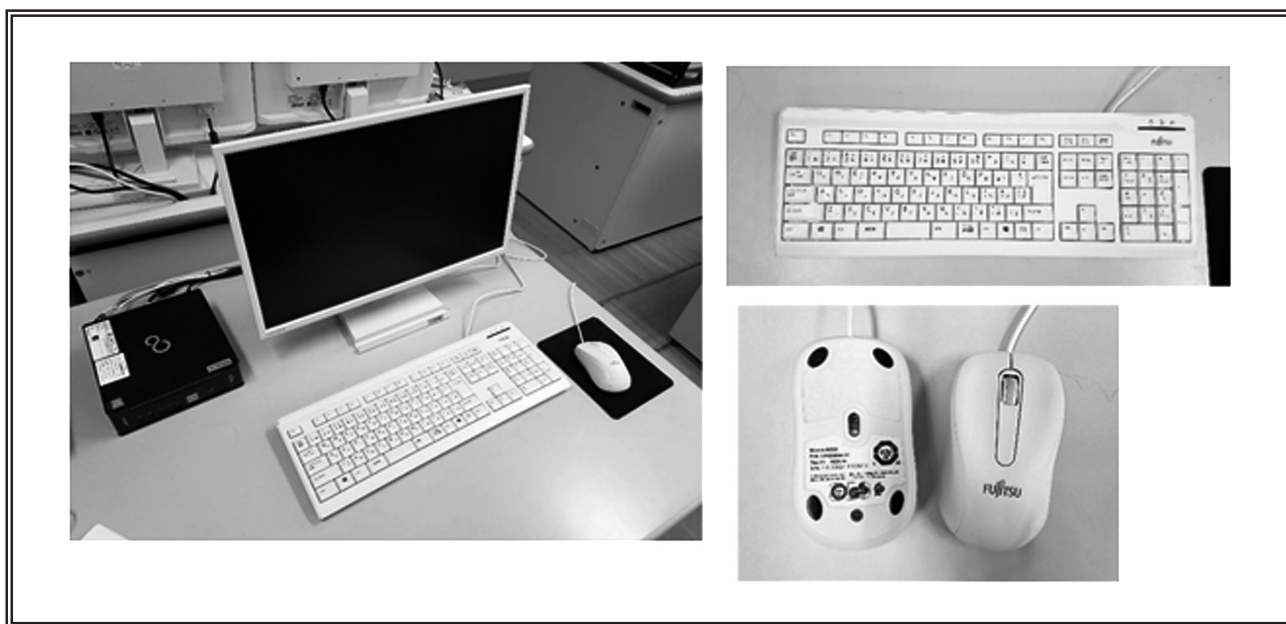
(5)競技内容

競技内容	競技時間	競技方法
情報知識	10分	農業情報処理に関する基礎的な知識について問題を解く。
表計算処理 グラフ作成 考察文書処理	60分	指示された内容に従い、与えられたデータを処理し、表およびグラフを作成する。それらを参考にして考察を行い、文書を作成する。 「表計算処理」→「グラフ作成」→「考察文書処理」の順番で処理する。 ※印刷については、競技終了後とする。

(6)タイムテーブル：8月26日(木)

時 間	競技時間	競技方法
10:00～10:30	審査員受付	正面玄関
10:30～11:00	選手・引率者受付	正面玄関
	審査員打ち合わせ	4階商業演習室
11:00～11:30	開始式	4階商業実践室
11:30～12:20	昼 食	審査員（4階商業演習室）
		選手・引率（4階商業実践室）
12:00～13:20	機器使用練習	4階 コンピュータ室
13:20～13:30	競技説明	4階 コンピュータ室
13:40～13:50	競技Ⅰ（情報知識）	4階 コンピュータ室
14:00～15:00	競技Ⅱ（表計算・グラフ・考察文書）	4階 コンピュータ室
15:15～15:30	閉会式	4階 商業実践室
16:30～17:00	審査会	4階 商業演習室

- (7)使用機器 (本大会では会場校の機器により競技する。)
- 使用機種名：FUJITSU ESPRIMO Q556/R
 本体仕様：CPU Intel Corei5-7500T 3.3GHz メモリ 8.0GB
 キーボード：テンキー付フルボード
 マウス：2ボタン型光学式ホイールマウス
 ディスプレイ：液晶ディスプレイ 21.5型ワイドディスプレイ
 変換・辞書：Microsoft IME
 OS：Windows 10
 表計算・文書作成：Microsoft Office Pro Plus 2016 (Word 2016・Excel 2016)



- (8)注意事項
- ① 機器の練習は、所定の時間内に行う。練習に際し、選手以外が競技会場等に立ち入り、指導・助言にかかわることを規制しない。ただし、競技中のトラブルは、選手の責任において処理すること。(システムに関する部分については、審査員が協議の上、指示を行う。)
 - ② 競技中は、選手、競技補助員以外の者は競技エリアに立ち入ることはできない。
 - ③ 競技中、選手は一切の指導・助言を受けることはできない。
- (9)その他
- ① 使用機器は、事務局で準備されたものを使用する。
 - ② 原稿台、筆記用具は、必要に応じて使用してもよい。
 - ③ 上記以外の機器・器具の使用は認めない。
 - ④ 携帯電話やスマートフォンなどの情報端末は、競技会場に持ち込めない。(生徒控室にてカバンの中などに保管する。)
 - ⑤ 正答発表は、競技終了後に会場で行う。
 - ⑥ 上履きは、選手・引率者ともに各自準備すること。
- (10)競技参加資格 東北ブロック農業クラブ員で、それぞれ各県で選出された単位クラブの代表3名まで参加できる。なお、開催県は4名までとする。
- (11)表彰 入賞者に対して次のとおり表彰を行う。
- ① 最優秀賞 1名
 - ② 優秀賞 参加者数の約1/3とする。

(12)出題範囲

情報知識	表計算処理・グラフ作成	考察文書処理
<p>①出題</p> <p>「農業情報処理」の教科書より、基本的な事柄について出題する。</p>	<p>①出題</p> <p>「農業情報処理」の教科書より、表計算およびグラフ作成の基本と応用技術問題を出題する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字位置（左詰め／中央揃え／右詰め） ・行・列表示（挿入／削除／幅の変更） ・四則演算、比率・罫線・グラフ ・基本的関数 合計 (SUM) 平均 (AVERAGE) 最大値 (MAX) 最小値 (MIN) 順位付け (RANK) 条件判定 (IF) 件数 (COUNT、COUNTA) 等 ・カンマ、%表示、小数部分の桁数指定 ・複写、移動・並び替え・度数分布 <p>②印刷用紙</p> <p>A 4用紙</p>	<p>①出題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字入力の正確性 ・表、グラフの読解力 ・550～600文字程度の現代文 1行35文字（全角）に設定 ・編集作業 文字位置 文字の大きさ アンダーライン <p>②印刷用紙</p> <p>A 4用紙（縦置き）</p>

(13)採点基準

- 1) 情報知識 (100点) 表計算処理 (500点) グラフ作成 (200点) 考察文書処理 (200点) の合計 (1000点) とする。ただし、提出物から判断して、関連する表・グラフが作成されていない場合は、考察文書の該当箇所の点を加えない。
- 2) ① 情報知識：知識問題に対して、正しく回答されているかを中心に採点する。
 ② 表計算処理：設問に基づいて、正しくデータ処理ができていないかを中心に採点する。
 ③ グラフ作成：指示されたとおりのデータを処理し、見やすくグラフが作成されているかどうかを中心に採点する。
 ④ 考察文書処理：考察文書が問題に対して、正しく処理が行われているかを中心に採点する。
 ⑤ 印刷：表計算処理、グラフ作成、考察文書処理の印刷は、各1枚（片面）とする。

(2) 農業情報処理競技出場者名簿

出場者番号	学校名	学 科	学 年	氏 名
1	青森県立五所川原農林高等学校	食 品 科 学	2年	齐 藤 董
2	青森県立三本木農業・三本木農業恵拓高等学校	農 業 経 済	2年	境 愛 華
3	青森県立三本木農業・三本木農業恵拓高等学校	農 業 経 済	2年	田 村 光
4	岩手県立岩谷堂高等学校	総 合 学 科	3年	菊 池 雪 乃
5	岩手県立盛岡農業高等学校	植 物 科 学 科	3年	瀧 本 雅 也
6	岩手県立花巻農業高等学校	食 農 科 学 科	3年	白 崎 咲 子
7	秋田県立秋田北鷹高等学校	生 物 資 源 科	3年	田 中 乃 愛
8	秋田県立大曲農業高等学校	園 芸 科 学 科	3年	加 賀 谷 みらの
9	秋田県立金足農業高等学校	食 品 流 通 科	3年	佐 々 木 彩
10	山形県立庄内農業高等学校	食 品 科 学 科	3年	佐 藤 莉 央
11	山形県立新庄神室産業高等学校	農 産 活 用 科	2年	今 田 莉 乃
12	山形県立上山明新館高等学校	食 料 生 産 科	3年	柴 田 彩 音
13	福島県立福島明成高等学校	生 産 情 報 科	3年	神 長 倉 巧
14	福島県立相馬農業高等学校	生 産 環 境 科	1年	小 松 心 優
15	福島県立相馬農業高等学校	食 品 科 学 科	1年	佐 々 木 海 渡
16	宮城県亘理高等学校	食 品 化 学 科	3年	田 中 晴 也
17	宮城県小牛田農林高等学校	農 業 技 術 科	3年	佐 々 木 明日夏
18	宮城県小牛田農林高等学校	農 業 技 術 科	1年	佐 々 木 纏
19	宮城県登米総合産業高等学校	農 業 科	2年	小 野 寺 若 菜

VII 会場案内図

- ◇ プロジェクト発表会・クラブ活動紹介発表会
名取市文化会館

- ◇ 意見発表会・代議員会
宮城県農業高等学校

- ◇ 平板測量競技会
宮城県加美農業高等学校

- ◇ 農業情報処理競技会
宮城県亘理高等学校

(1) 名取市文化会館

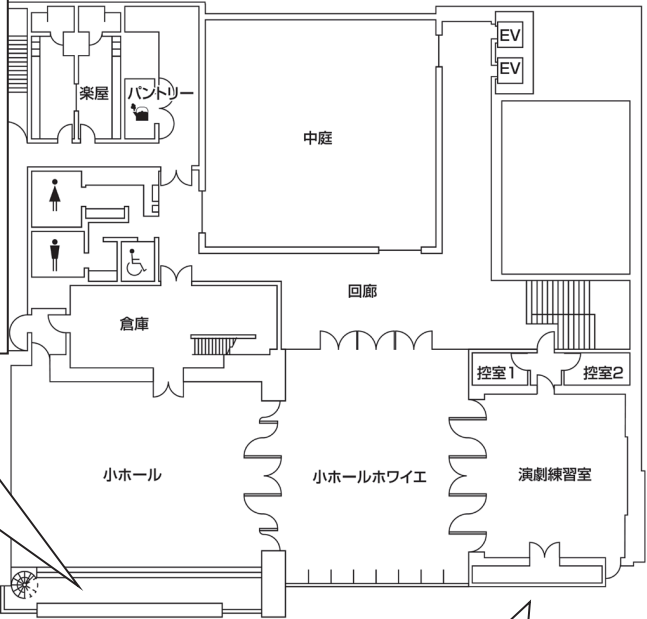
平面図 1 階



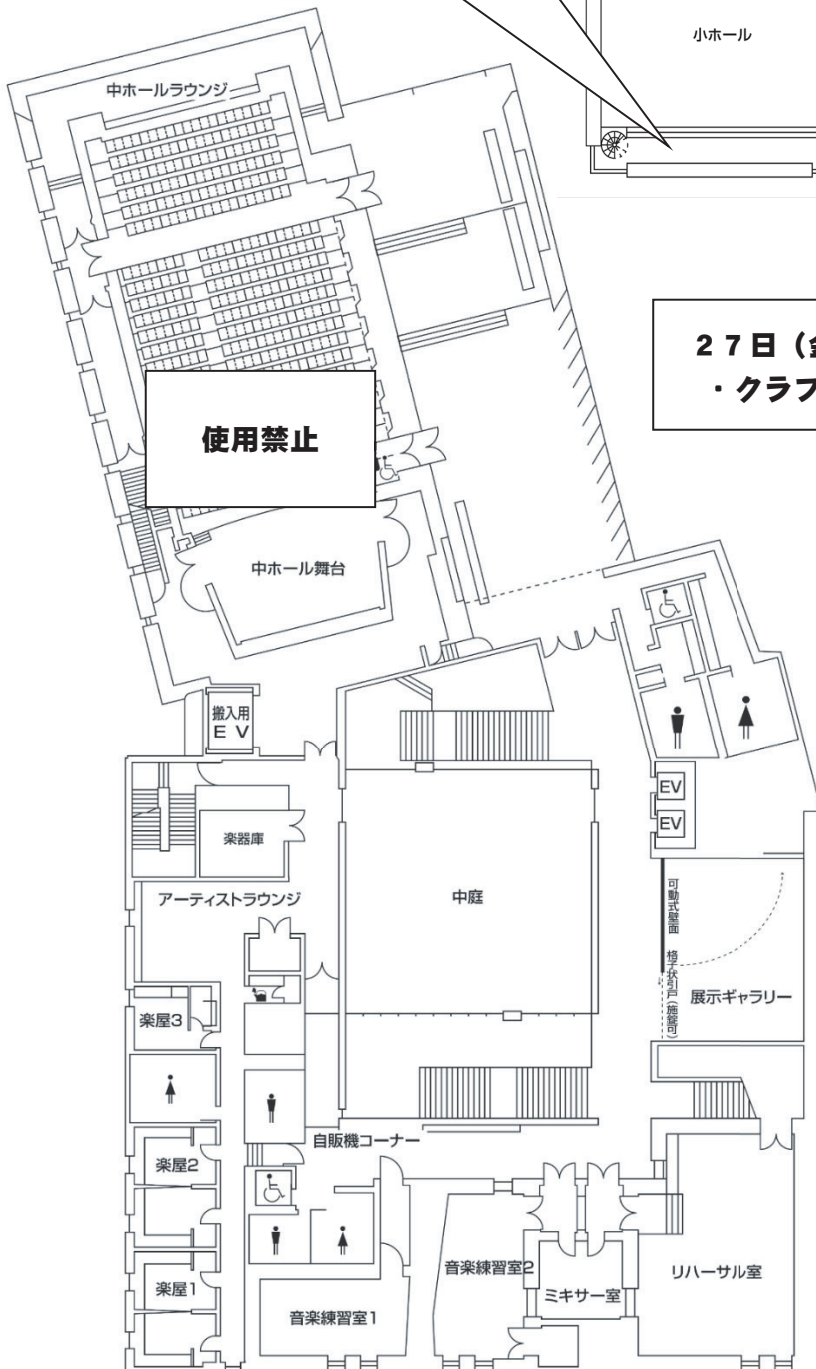
3階 ホール

27日(金) プロジェクト発表Ⅲ類
9:25~9:50 開始式・説明会
10:00~10:50 リハーサル
11:00~13:00 発表会

クラブ活動紹介発表
**13:45~14:35 リハーサル
及び準備**
14:45~16:15 発表会

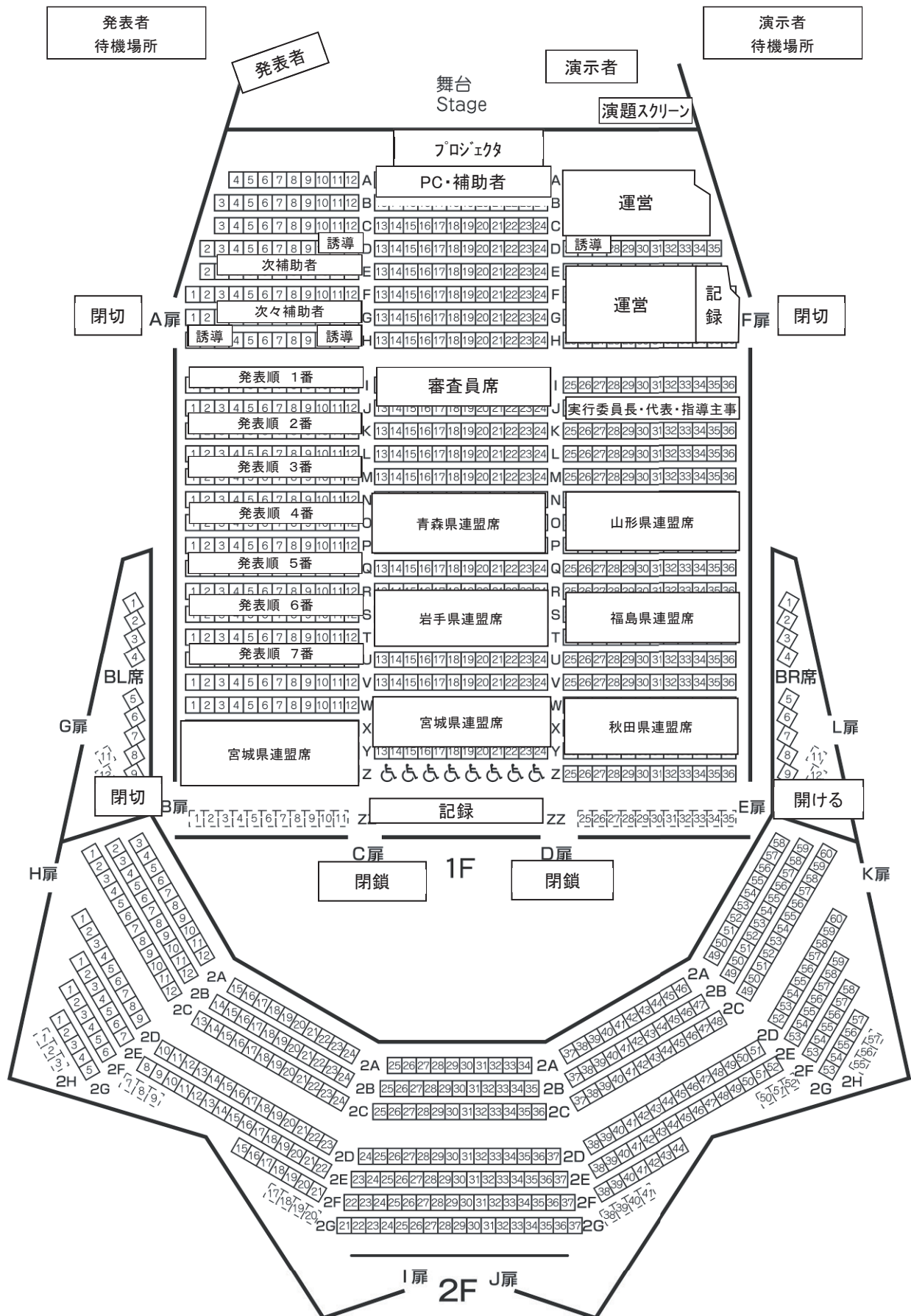


2階 中ホール



27日(金) プロジェクト発表Ⅲs類
・クラブ活動紹介発表生徒 控席

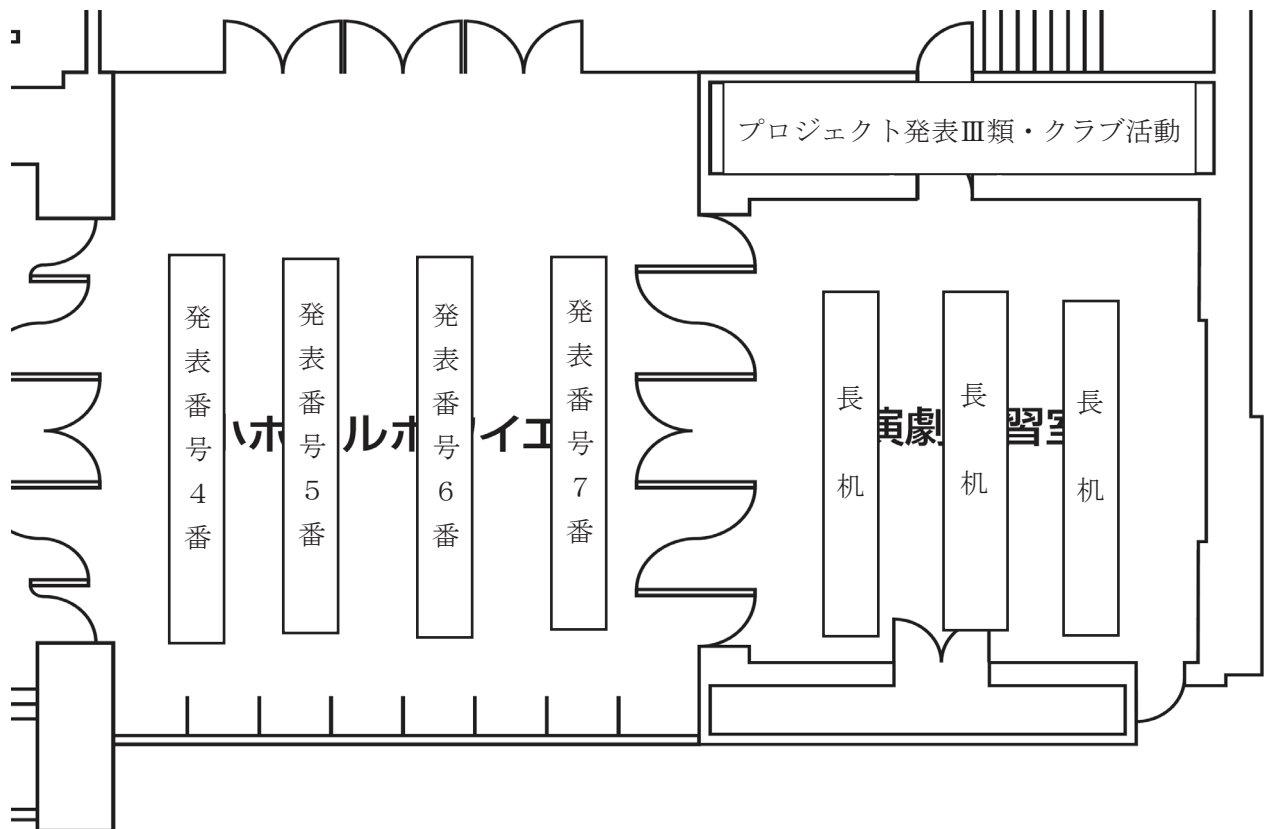
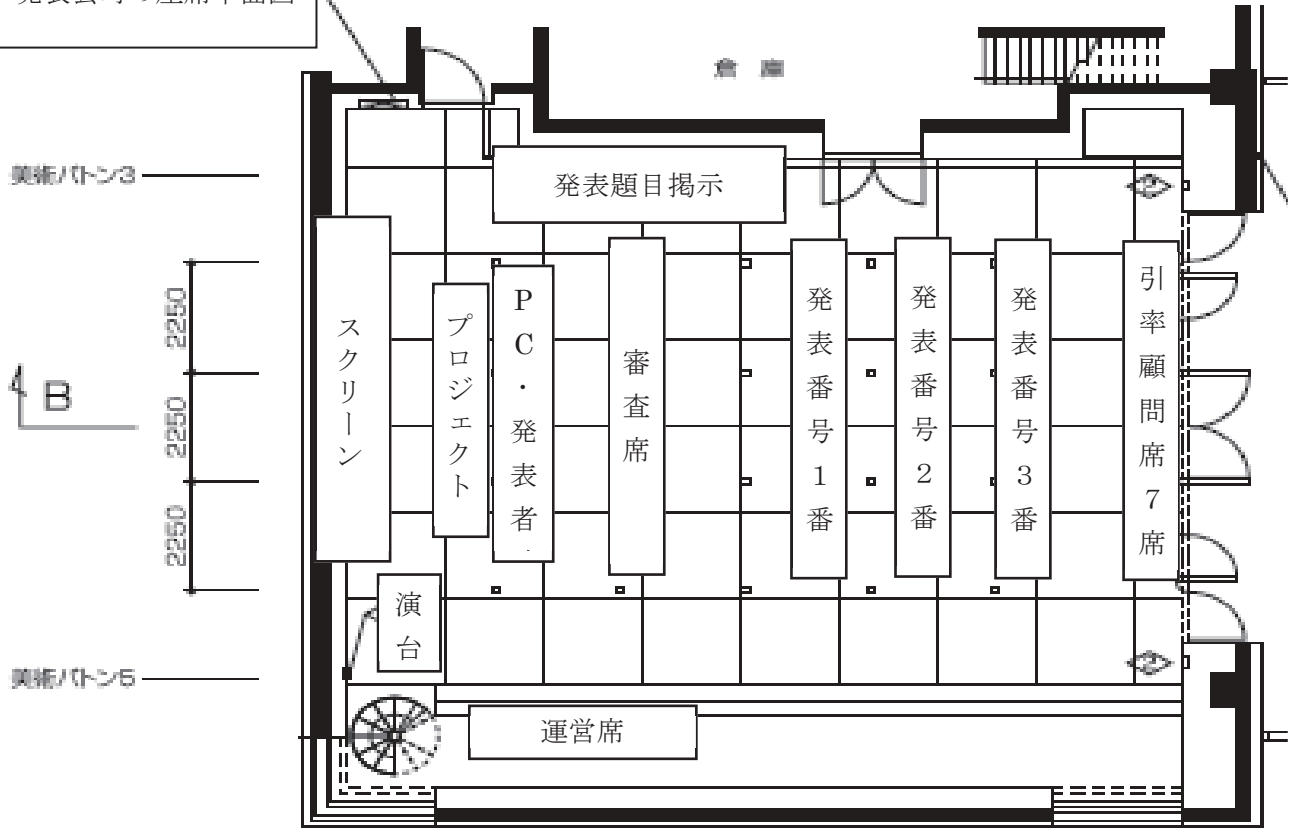
8月26日(木)・27日(金) 開始式・説明会・リハーサル・発表会I・II類(大ホール)



8月27日（金） プロジェクト発表Ⅲ類
クラブ活動紹介発表

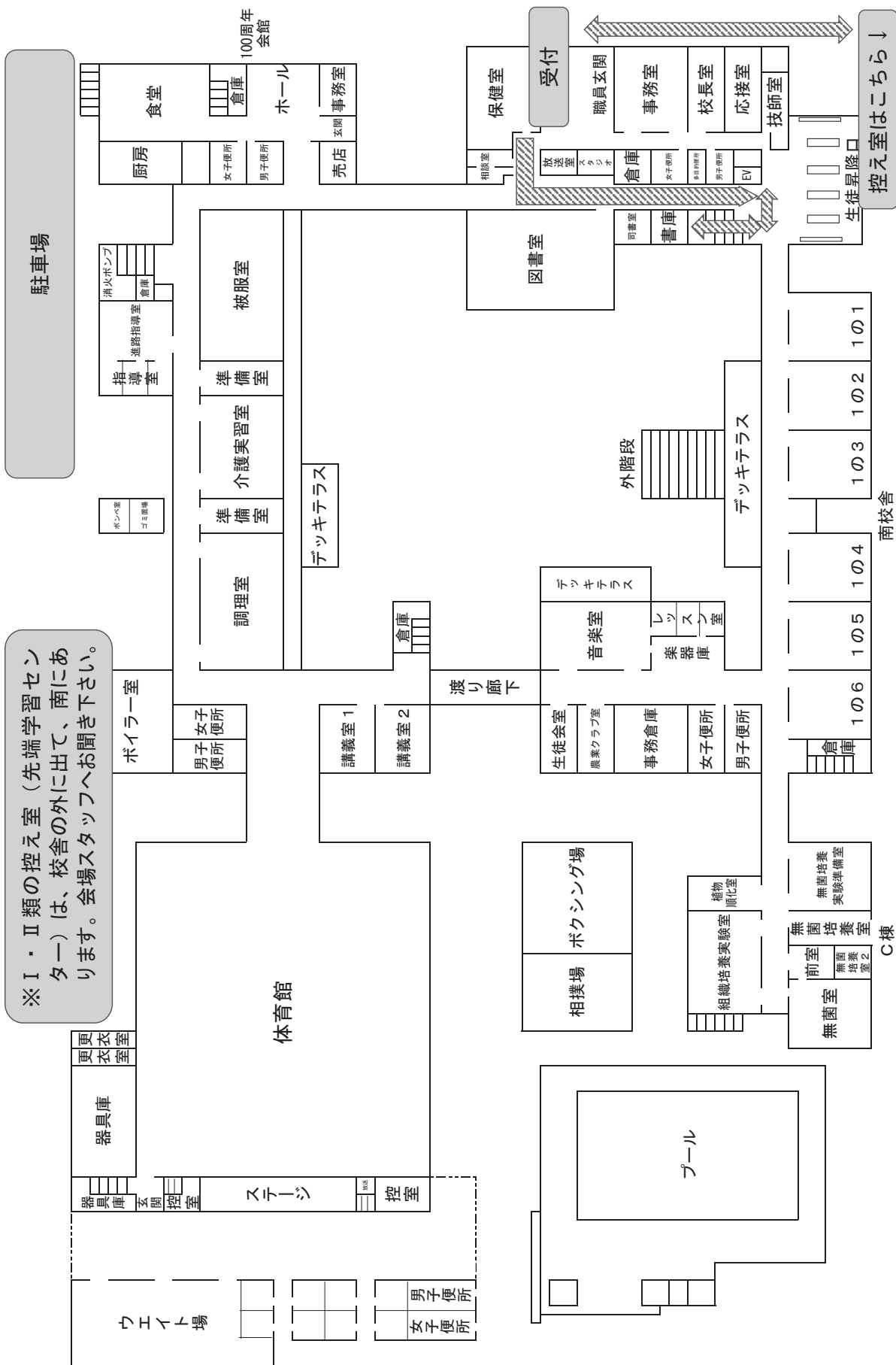
開始式・説明会・リハーサル・発表会
開始式・説明会リハーサル及び準備・発表会

発表会時の座席平面図



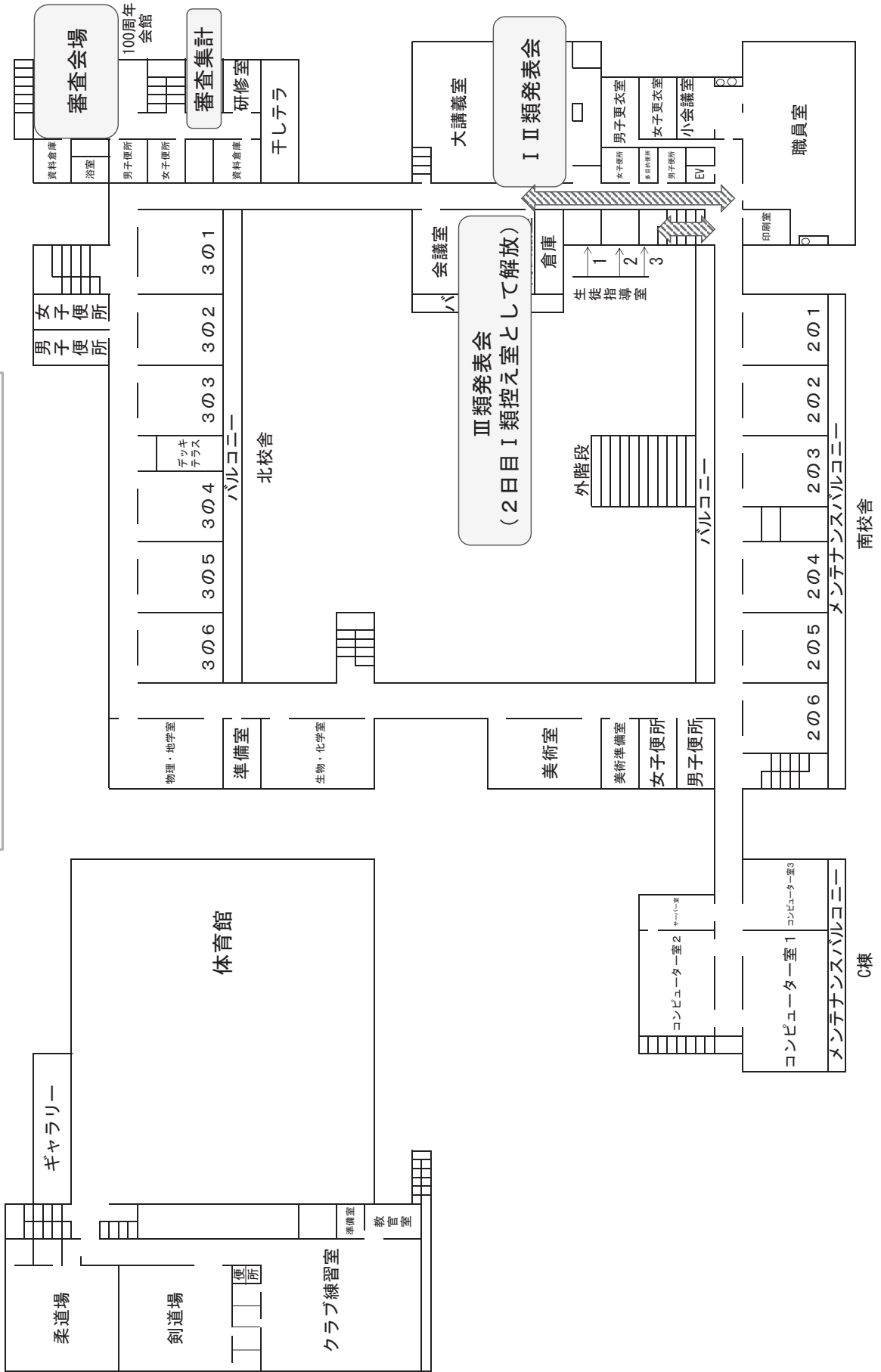
校舎 1階

(2) 宮城県農業高等学校



校舎 2階

・参加者の経路 (目安)



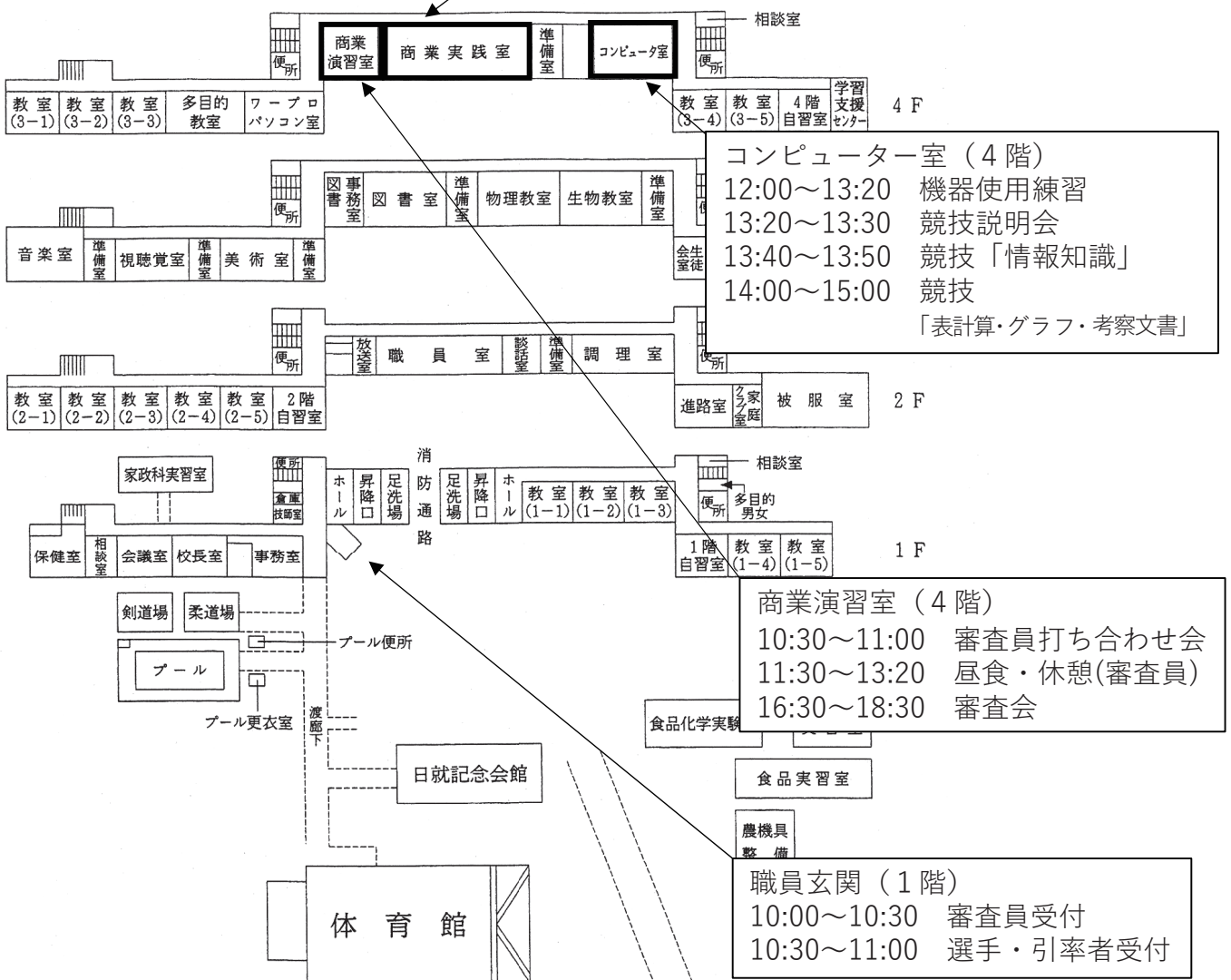
(4) 宮城県亶理高等学校

周辺図



- 最寄り駅
JR 亶理駅 徒歩20分
- 常磐自動車・仙台東部道路
亶理 I C 自動車15分

校舎平面図



VIII 大会成績（最優秀賞受賞）

種 目 別	学 校 名	受 賞 者 名
プロジェクト発表会 分類Ⅰ類		
プロジェクト発表会 分類Ⅱ類		
プロジェクト発表会 分類Ⅲ類		
意見発表会 分類Ⅰ類		
意見発表会 分類Ⅱ類		
意見発表会 分類Ⅲ類		
クラブ活動紹介発表会		
平板測量競技会		
農業情報処理競技会		

IX 近隣医療機関（名取市近郊）

① 守健診内科

宮城県名取市増田 1 - 9 - 21

電話番号：022-384-5171

② 社会医療法人 将道会 総合南東北病院

宮城県岩沼市里の杜 1 丁目 2 - 5

電話番号：0223-23-3151

③ 舘越クリニック（内科・外科）

宮城県名取市植松 4-17-16

電話番号：022-383-6677

第72回 日本学校農業クラブ東北連盟大会 令和3年度宮城大会

スローガン・シンボルマーク入賞者

スローガンの部

最優秀賞

『未来につなげ 農クの絆 宮城で咲かせる 六魂の花』

岩手県立大船渡東高等学校 農芸科学科 3年 三浦 夏紀

『自然を感じる農業の地に 繋げよう農クの絆
咲かせよう六凜の花』

宮城県亘理高等学校 食品化学科 3年 関根 巧

シンボルマークの部

最優秀賞

福島県立白河実業高等学校

農業科 3年 荒井 彩音

中学生のころ、修学旅行で一番印象に残っているが伊達政宗像だったので、伊達政宗像を中心に描きました。またその当時のフィールドワークで学んだ仙台こけし、ミヤギノハギそして実際に食べたずんだ餅を描きました。





鶴翼の飛翔

(連盟結成50周年記念2000年に制定)

鶴(カーマイン)はクラブ員、ボール(プルシェンブルー)は地球、稲穂(メイズ)は農業の象徴。
両翼で抱え込みながら宇宙を飛ぶ。

()内は指定色を示す。